

資料編

1. 運航に関するデータ

(1) 航路使用船舶

① 使用船舶の情報

- 平成26年3月現在、「しまかぜ」と「しまちどり」の2隻が運航している。

＜使用船舶の概要＞

	しまかぜ	しまちどり
総トン数	49トン	56トン
旅客定員	63人	82人
速力	18ノット	18ノット
船員数	3人	3人
航路の距離	沼島－洲本29.2km,沼島土生4.4km	
バリアフリー設備	○	○

② 発着時刻表（洲本線）

- 使用船舶：しまかぜ
- 運航：週3便（火曜・木曜・土曜）
- 所要時間：約60分
- 時刻表：

洲本線(上り)			洲本線(下り)		
便名	沼島発	洲本着	便名	洲本発	沼島着
1	7時20分	8時20分	1	12時45分	13時45分

③ 発着時刻表（灘線）

- 使用船舶：しまかぜ・しまちどり
- 運航：毎日
- 所要時間：約10分
- 時刻表：

灘線(上り)			灘線(下り)		
便名	沼島発	土生着	便名	土生発	沼島着
1	6時20分	6時30分	1	7時00分	7時10分
2	7時25分	7時35分	2	7時50分	8時00分
3	8時30分	8時40分	3	9時00分	9時10分
4	9時50分	10時00分	4	10時30分	10時40分
5	11時20分	11時30分	5	11時55分	12時05分
6	13時20分	13時30分	6	13時50分	14時00分
7	14時40分	14時50分	7	15時10分	15時20分
8	16時00分	16時10分	8	16時30分	16時40分
9	17時40分	17時50分	9	18時05分	18時15分
10	18時30分	18時40分	10	19時00分	19時10分

(2) 運賃の種類

① 洲本線（沼島～洲本）

		大人	子供	手荷物
洲本線 (沼島⇄洲本)	片道	1,880円	940円	260円
	往復	3,580円	1,790円	-

② 灘線（沼島～土生）

		大人	子供	手荷物
灘線 (沼島⇄土生)	片道	460円	230円	260円
	往復	880円	440円	-

③ 定期券旅客運賃（沼島～土生）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
通勤	16,560円	47,200円	89,430円
通学	11,040円	30,640円	56,310円
身障者	9,660円	28,980円	57,960円

④ 団体旅客運賃割引

- ・ 一般団体：15人以上 1 割引
- ・ 学生団体（大人）：15人以上 3 割引
- ・ 学生団体（小人）：15人以上 1 割引

(3) 駐車場の利用料金

- ・ 灘線、洲本線について駐車場の利用料金は 1 回500円となっている。

2. 島民アンケート調査結果

(1) 調査の概要

調査の概要は以下の通り。

① 調査対象等

- ・ 調査対象：高校生以上の島民全員を対象にアンケート調査票を配布
- ・ 調査期間：平成 25 年 11 月上旬～11 月中旬
- ・ 調査方法：自治会を通じた各戸配布・回収
- ・ 回収率：有効回答数 364 通（回収率：70.1%）

② 調査項目等

- ・ 回答者属性（問 1）
- ・ 航路の利用状況について（問 2～問 6）
- ・ 航路運航における改善点について（問 7～問 8）
- ・ 今後の航路の確保・維持について（問 9）
- ・ 航路の確保・維持や地域の活性化のために必要とされる取組みについて（問 10）

③ 調査結果の見方

- ・ 調査結果の分析に当たっては、有効回答数を N 数として表示している。
- ・ 百分率（%）は、原則として少数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位までを表示している。また、四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

④ 調査結果・分析

- ・ 調査結果・分析は次頁以降に記載の通りである。

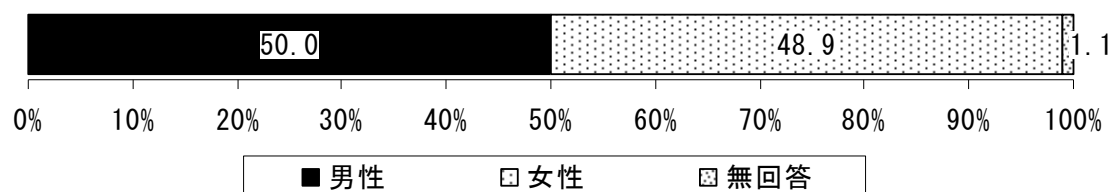
(2) 調査結果・分析

① 回答者ご自身のことについて（回答者属性）

1) 性別（問1）

- ・回答者の性別は、「男性」が50.0%、「女性」が48.9%となっている。

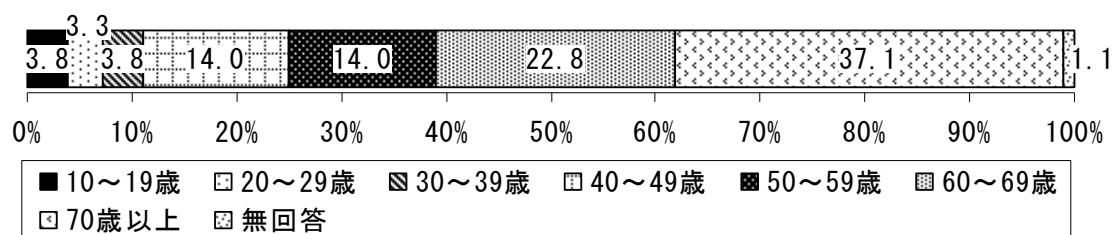
図表 資料-1 性別（N=364）



2) 年齢（問1）

- ・回答者の年齢は、「70歳以上」が37.1%と最も多く、「60～69歳」が22.8%、「40～49歳」「50～59歳」が14.0%と続いている。

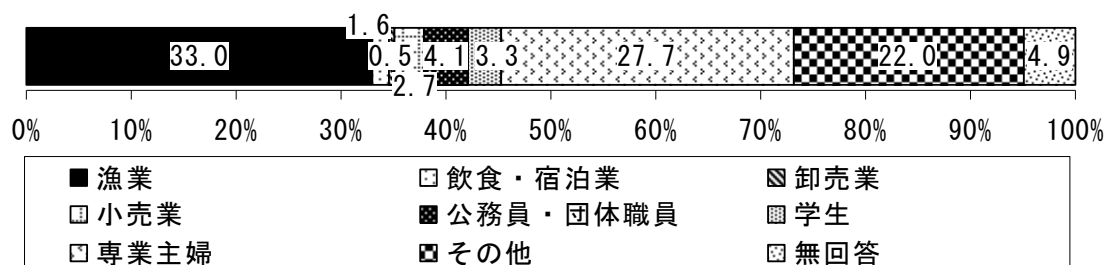
図表 資料-2 年齢（N=364）



3) 職業（問1）

- ・回答者の職業は、「漁業」が33.0%と最も多く、「専業主婦」が27.7%と続いている。

図表 資料-3 職業（N=364）



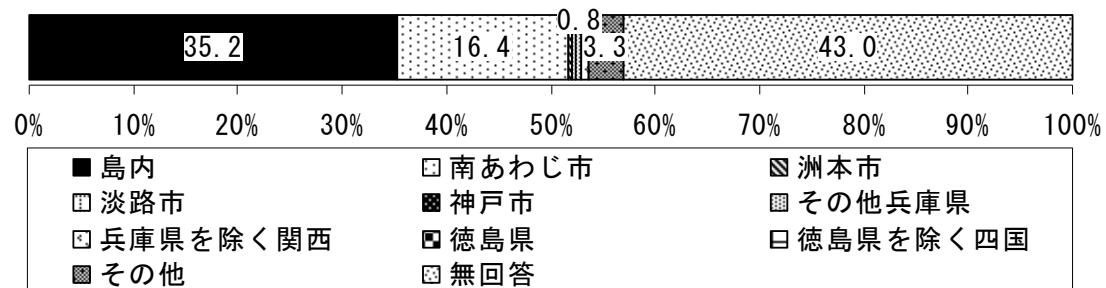
【その他（80件）】

- ・無職（18件）
- ・パート（8件）
- ・自営業（3件）
- ・会社員（3件）
- ・その他（11件）
- ・無回答（37件）

4) 通勤・通学地（問1）

- ・回答者の通勤・通学地は、「島内」が35.2%と最も多く、「南あわじ市」が16.4%と続いている。

図表 資料-4 通勤・通学地（N=244）



【その他（8件）】

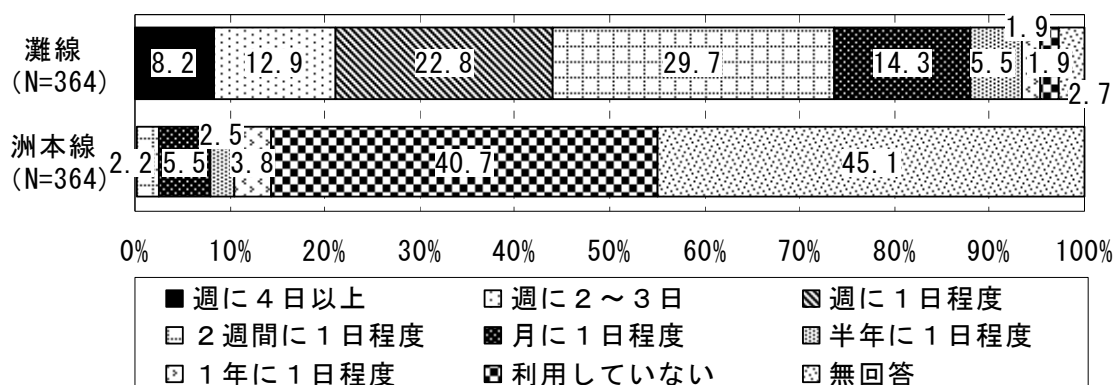
- ・無回答（8件）

② 航路の利用状況について

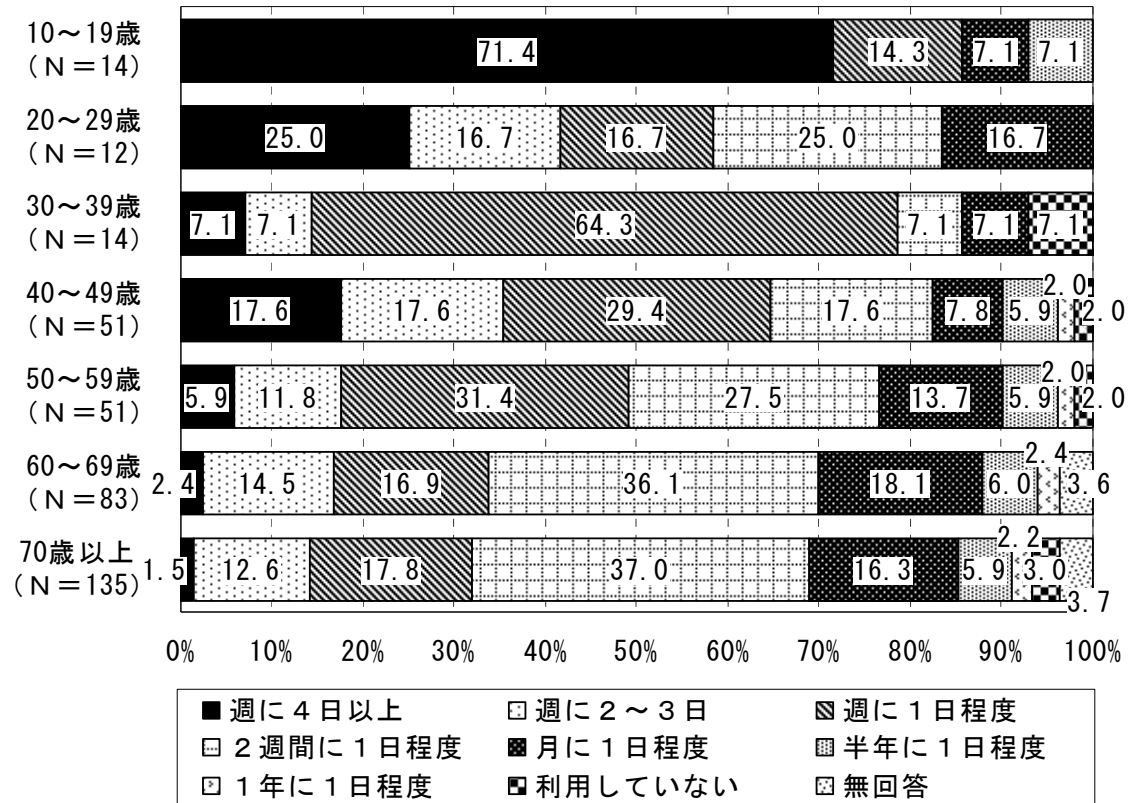
1) 利用頻度（問2）

- ・灘線の利用頻度は、「2週間に1日程度」が29.7%と最も多く、「週に1日程度」が22.8%、「月に1日程度」が14.3%と続いている。
- ・洲本線の利用頻度は、「利用していない」が40.7%と最も多く、「月に1日程度」が5.5%、「1年に1日程度」が3.8%と続いている。
- ・年齢別にみると、灘線では若い世代の利用頻度が高く、洲本線では高齢者の利用頻度が高くなっている。また、洲本線では「利用していない」が全ての年代で最も多くなっている。

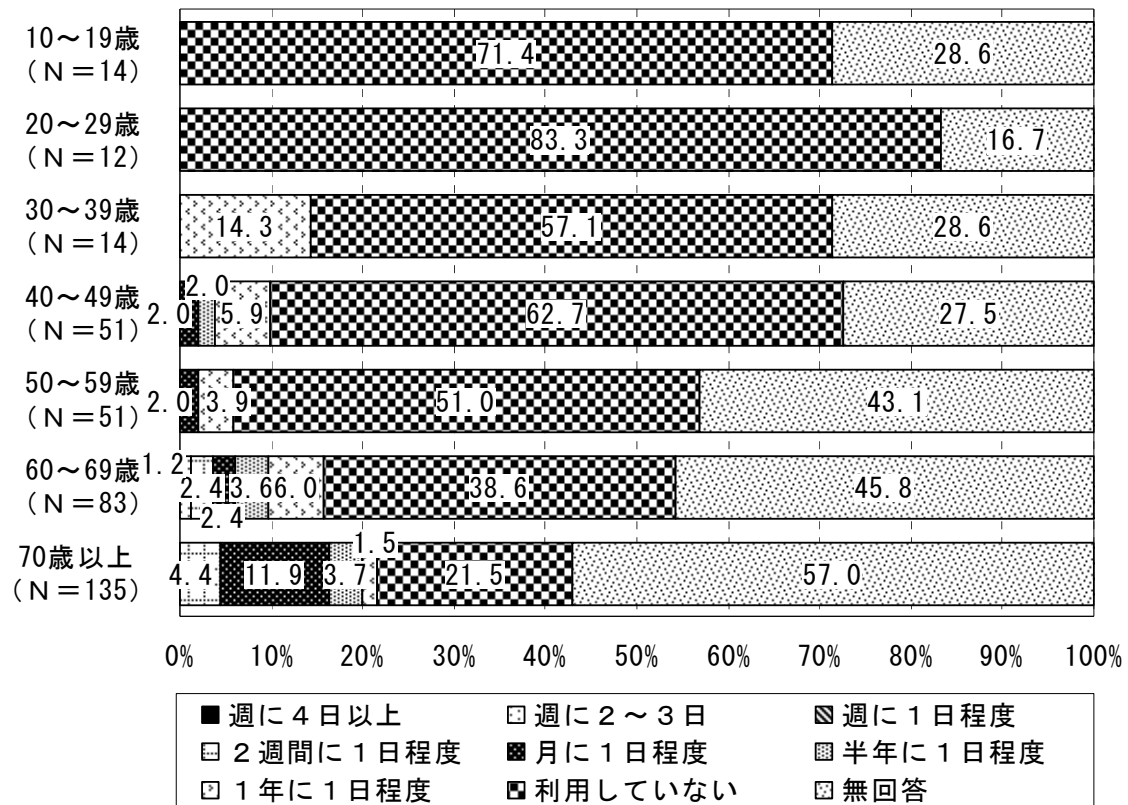
図表 資料-5 利用頻度



図表 資料-6 利用頻度：灘線（年齢別）



図表 資料-7 利用頻度：洲本線（年齢別）

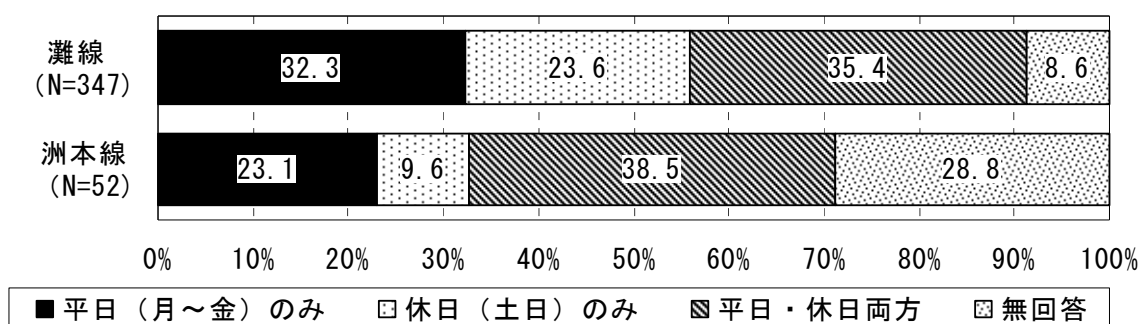


【問3～問6は「利用頻度（問2）」で「利用していない」以外を回答した人が対象】

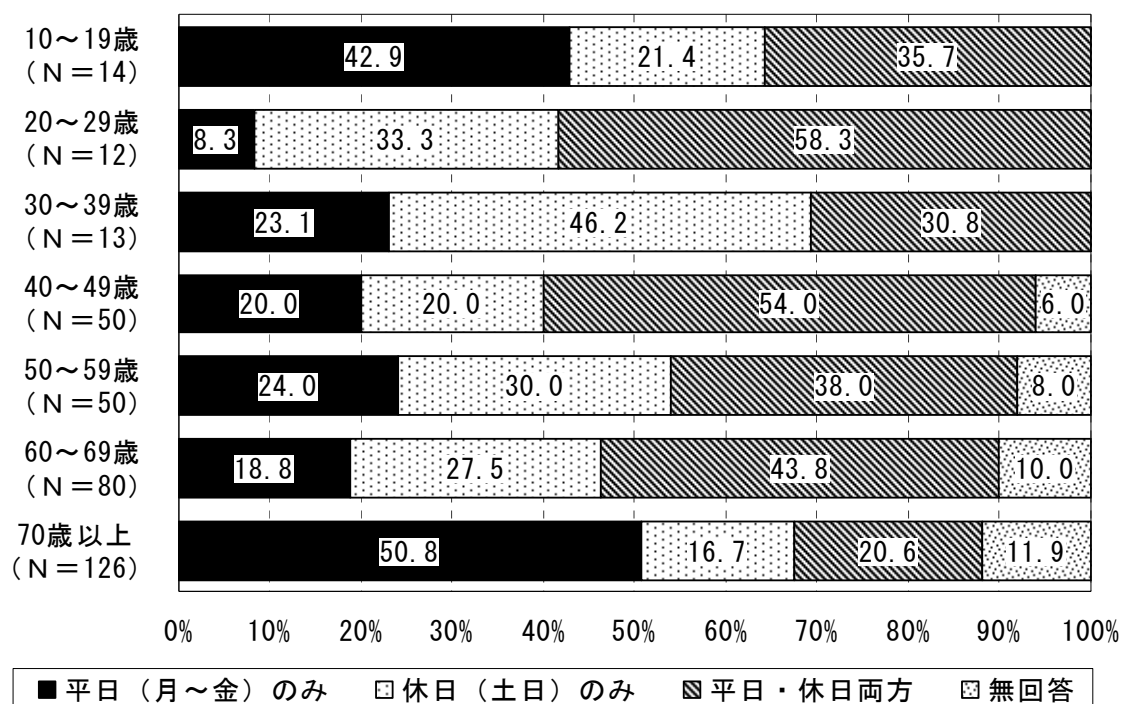
2) 利用曜日（問3）

- ・ 灘線の利用曜日は、「平日・休日両方」が35.4%と最も多く、「平日（月～金）のみ」が32.3%、「休日（土日）のみ」が23.6%と続いている。
- ・ 洲本線の利用曜日は、「平日・休日両方」が38.5%と最も多く、「平日（月～金）のみ」が23.1%、「休日（土日）のみ」が9.6%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、灘線では20～29歳の「平日・休日両方」が58.3%、40～49歳の「平日・休日両方」が54.0%、70歳以上の「平日（月～金）のみ」が50.8%となっており、いずれも5割以上を占めている。洲本線では60～69歳の「平日・休日両方」が6割を占めている。

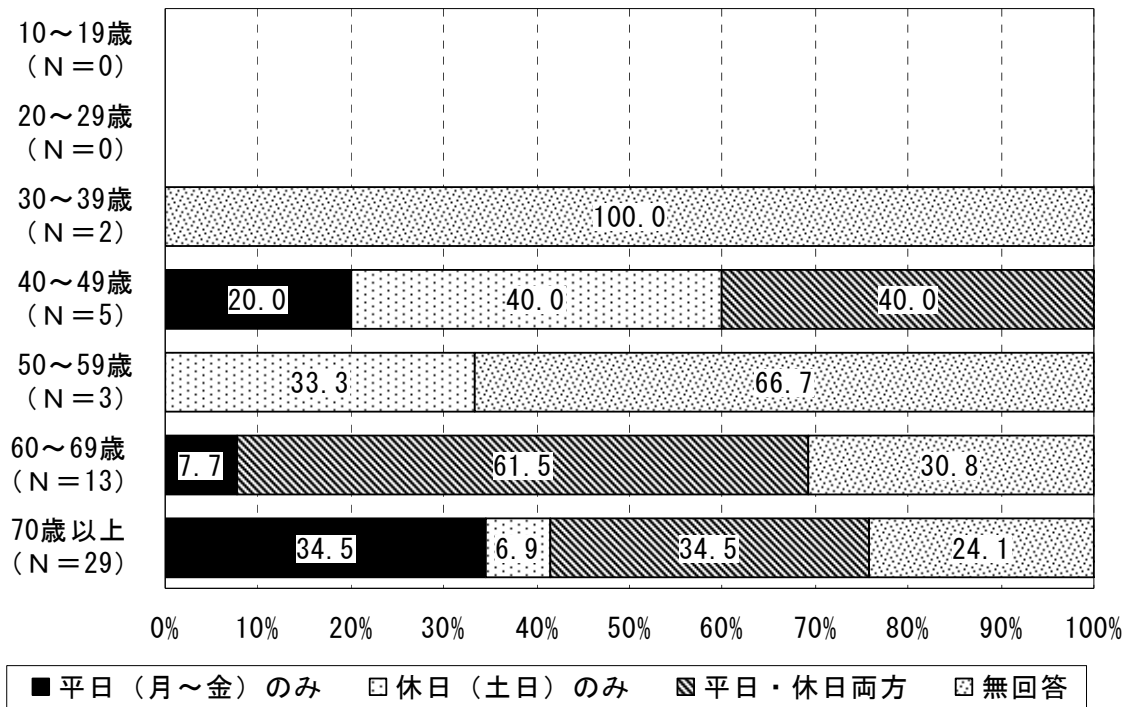
図表 資料-8 利用曜日



図表 資料-9 利用曜日：灘線（年齢別）



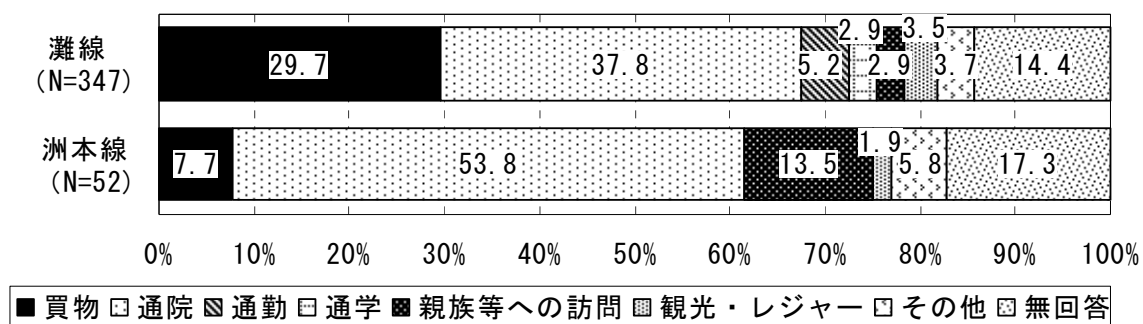
図表 資料-10 利用曜日：洲本線（年齢別）



3) 利用目的 (問4)

- ・ 灘線の利用目的は、「通院」が37.8%と最も多く、「買物」が29.7%、「通勤」が5.2%と続いている。
- ・ 洲本線の利用目的は、「通院」が53.8%と最も多く、「親族等への訪問」が13.5%、「買物」が7.7%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、灘線では10～19歳の71.4%は「通学」、20～29歳の41.7%、30～39歳の61.5%、40～49歳の50.0%、50～59歳の48.0%は「買物」、60～69歳の37.5%、70歳以上の67.5%は「通院」での利用が最も多くなっている。洲本線では40～49歳の60.0%、50～59歳の33.3%、60～69歳の46.2%、70歳以上の62.1%は「通院」での利用が最も多くなっている。

図表 資料-11 利用目的



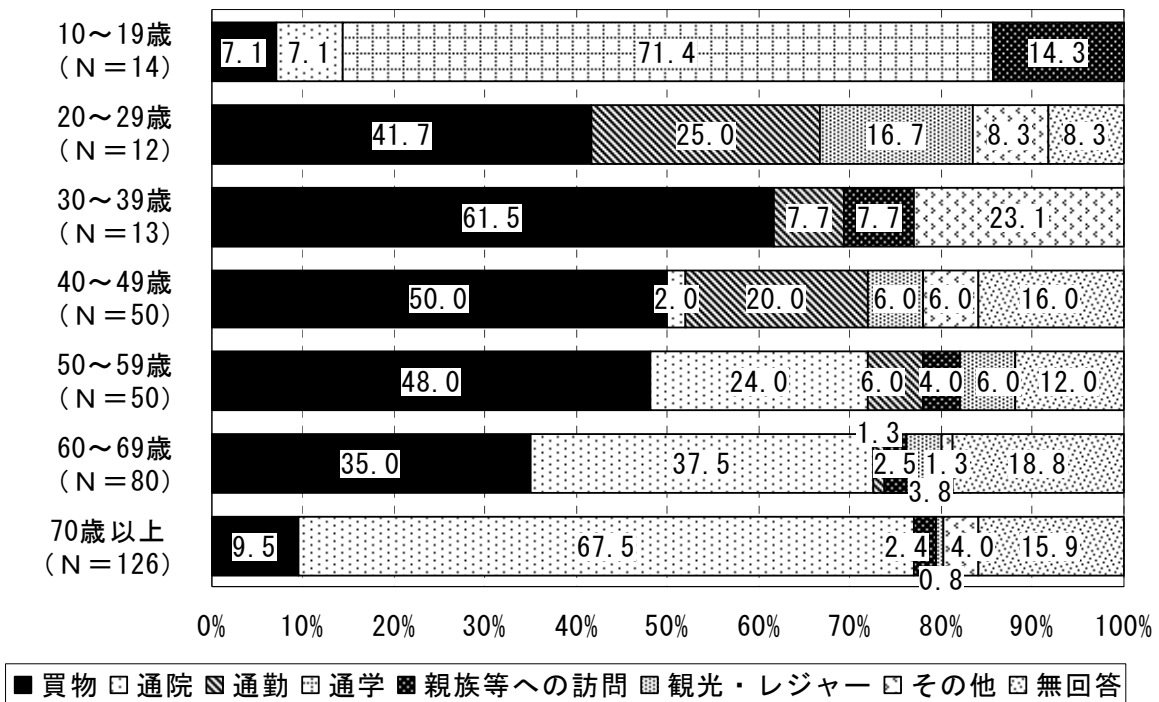
【その他：灘線 (13件)】

・ 医療・介護施設 (3件) ・ その他 (3件) ・ 無回答 (7件)

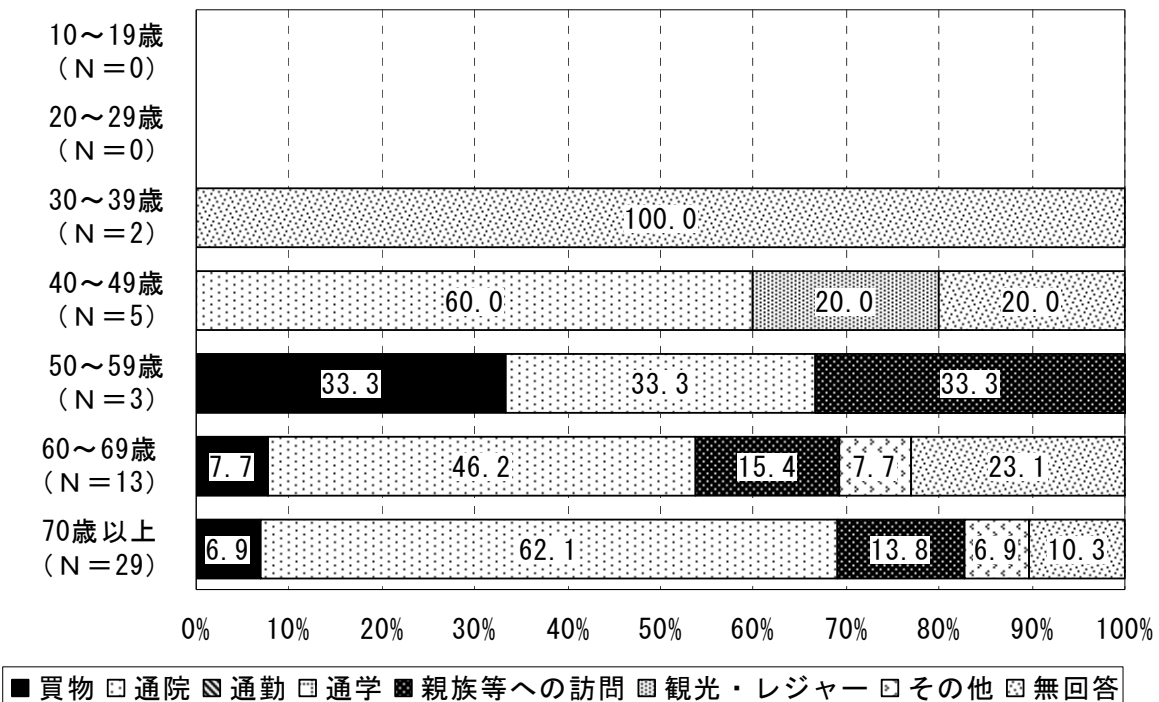
【その他：洲本線 (3件)】

・ 貨物 (1件) ・ 病院 (1件) ・ 無回答 (1件)

図表 資料- 1 2 利用目的：灘線（年齢別）



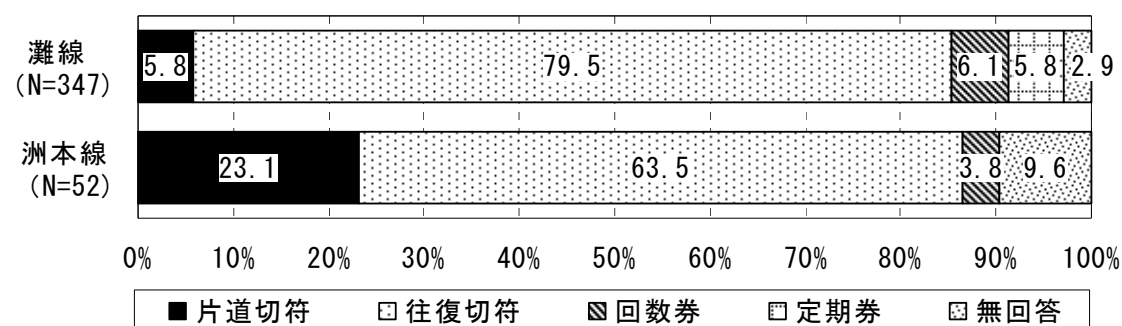
図表 資料- 1 3 利用目的：洲本線（年齢別）



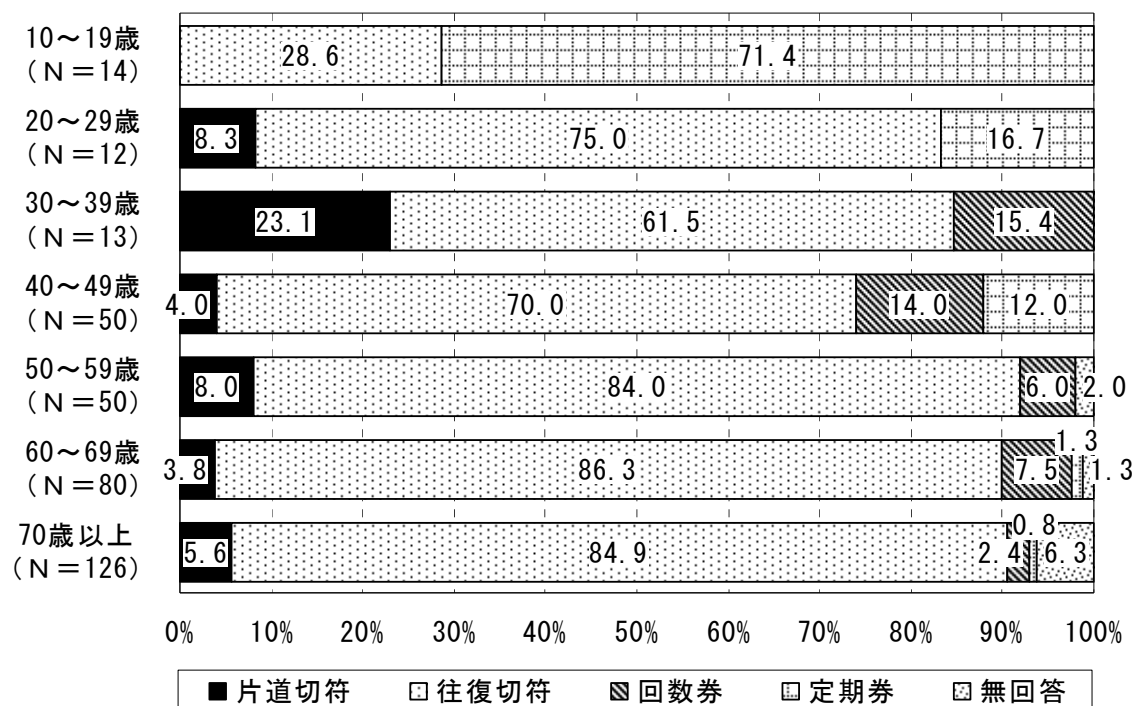
4) 利用券種（問5）

- ・ 灘線の利用券種は、「往復切符」が79.5%と最も多く、「回数券」が6.1%、「片道切符」「定期券」が5.8%と続いている。
- ・ 洲本線の利用券種は、「往復切符」が63.5%と最も多く、「片道切符」が23.1%、「回数券」が3.8%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、灘線では10～19歳は「定期券」が71.4%と最も多く、20歳以上は「往復切符」がいずれの年代も6割以上を占めている。洲本線では50～59歳は「片道切符」が66.7%と最も多く、40～49歳、60～69歳、70歳以上は「往復切符」がいずれも6割以上を占めている。

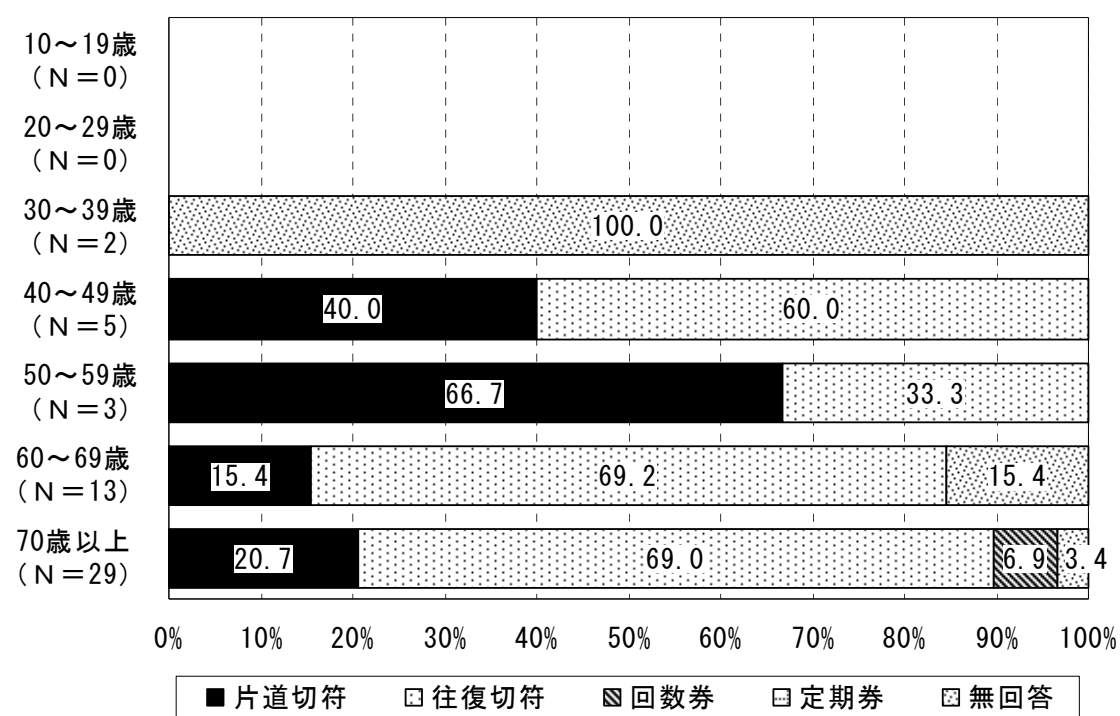
図表 資料-14 利用券種



図表 資料-15 利用券種：灘線（年齢別）



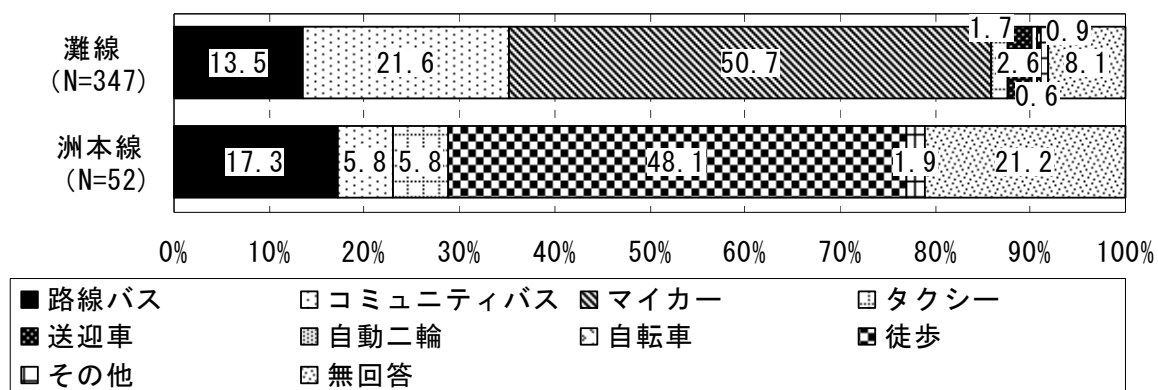
図表 資料-16 利用券種：洲本線（年齢別）



5) 土生港・洲本港から目的地までの交通手段（問6）

- ・ 灘線の土生港から目的地までの交通手段は、「マイカー」が50.7%と最も多く、「コミュニティバス」が21.6%、「路線バス」が13.5%と続いている。
- ・ 洲本線の洲本港から目的地までの交通手段は、「徒歩」が48.1%と最も多く、「路線バス」が17.3%、「コミュニティバス」「タクシー」が5.8%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、灘線では10～69歳は「マイカー」がどの年代でも最も多く、10～19歳、70歳以上は「コミュニティバス」がそれぞれ35.7%、38.1%と最も多くなっている。洲本線では40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上は「徒歩」が最も多くなっている。

図表 資料-17 土生港・洲本港から目的地までの交通手段



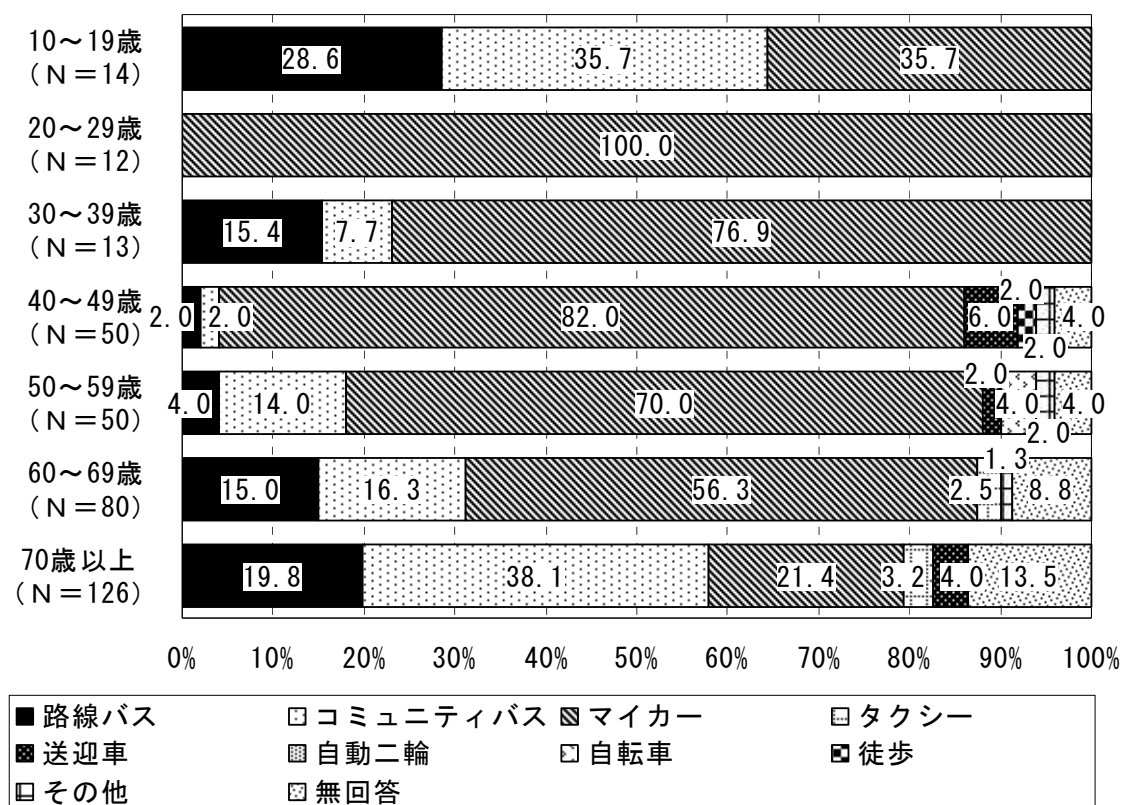
【その他：灘線（3件）】

- ・ 高速バス（1件）
- ・ 無回答（2件）

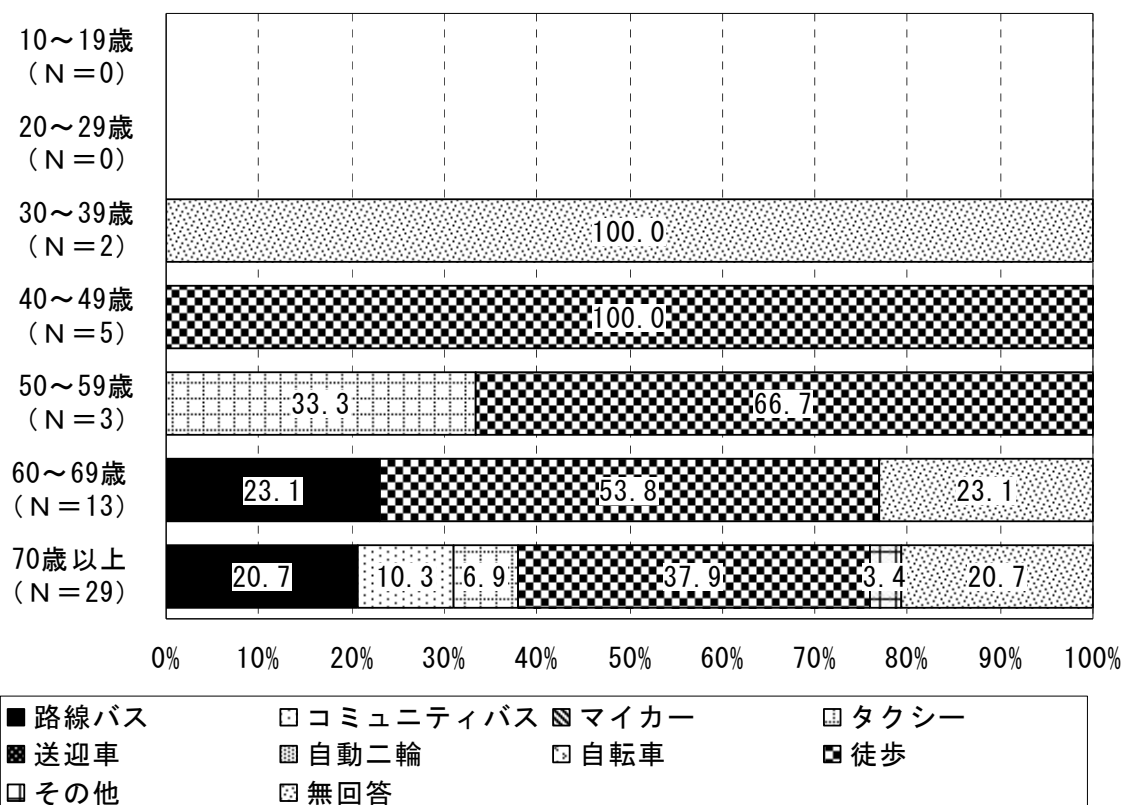
【その他：洲本線（1件）】

- ・ 無回答（1件）

図表 資料-18 土生港・洲本港から目的地までの交通手段：灘線（年齢別）



図表 資料-19 土生港・洲本港から目的地までの交通手段：洲本線（年齢別）

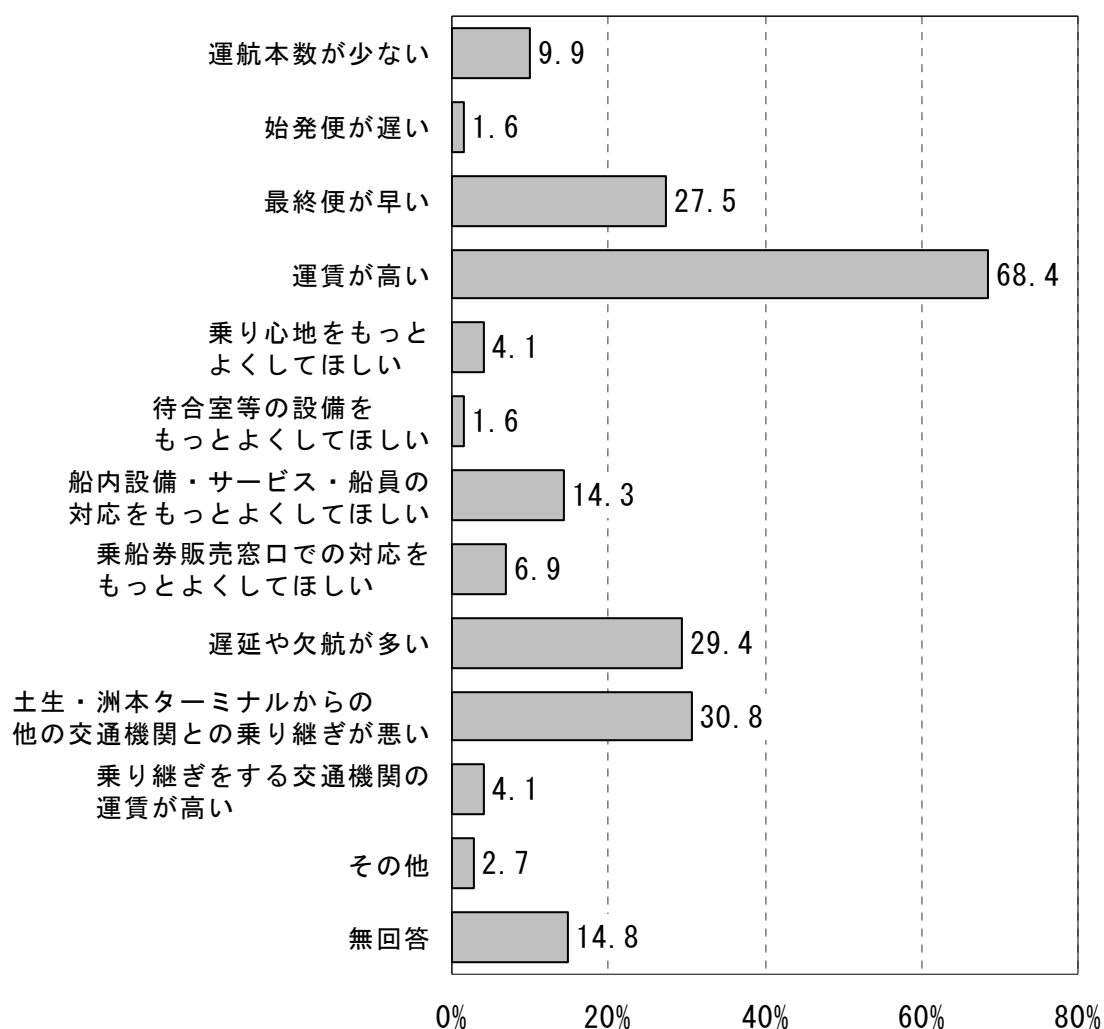


③ 航路運航における改善要望について

1) 航路運航における改善要望（問7）

- ・ 瀬線の航路運航における改善要望は、「運賃が高い」が68.4%と最も多く、「土生・洲本ターミナルからの他の交通機関との乗り継ぎが悪い」が30.8%、「遅延や欠航が多い」が29.4%と続いている。
- ・ 洲本線の航路運航における改善要望は、「運賃が高い」が21.7%と最も多く、「遅延や欠航が多い」が6.6%、「運航本数が少ない」が5.2%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、瀬線では全ての年代で「運賃が高い」が6割以上と最も多くなっている。洲本線でも全ての年代で「運賃が高い」が最も多くなっている。

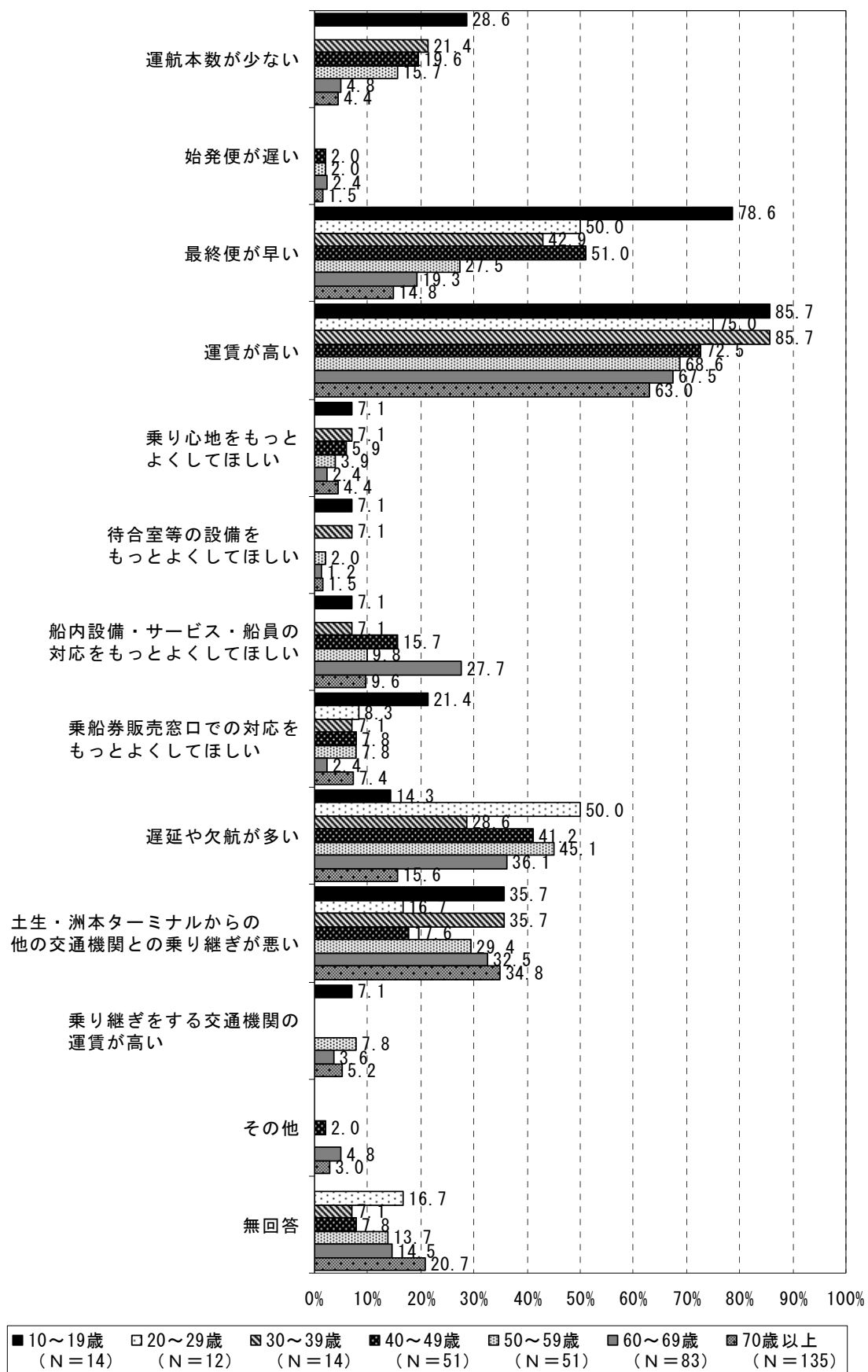
図表 資料-20 航路運航における改善点：瀬線（複数回答・N=364）



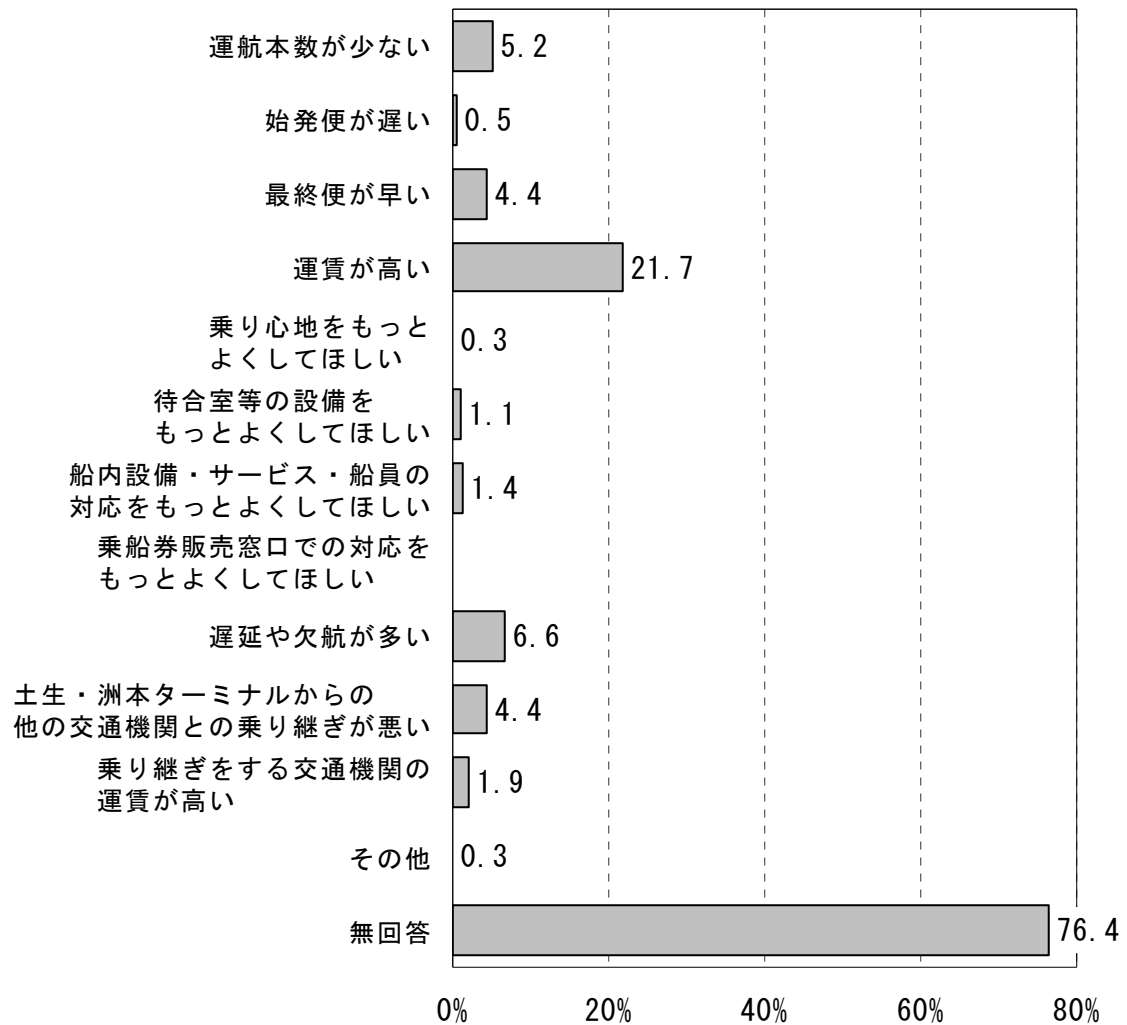
【その他（10件）】

・路線・コミュニティバスの増便（2件） ・その他（6件） ・無回答（2件）

図表 資料-2 1 航路運航における改善点：灘線（複数回答・年齢別）



図表 資料-2 2 航路運航における改善点：洲本線（複数回答・N=364）



【その他（1件）】

・島民の運賃の値下げ（1件）

図表 資料-23 航路運航における改善点：洲本線（複数回答・年齢別）

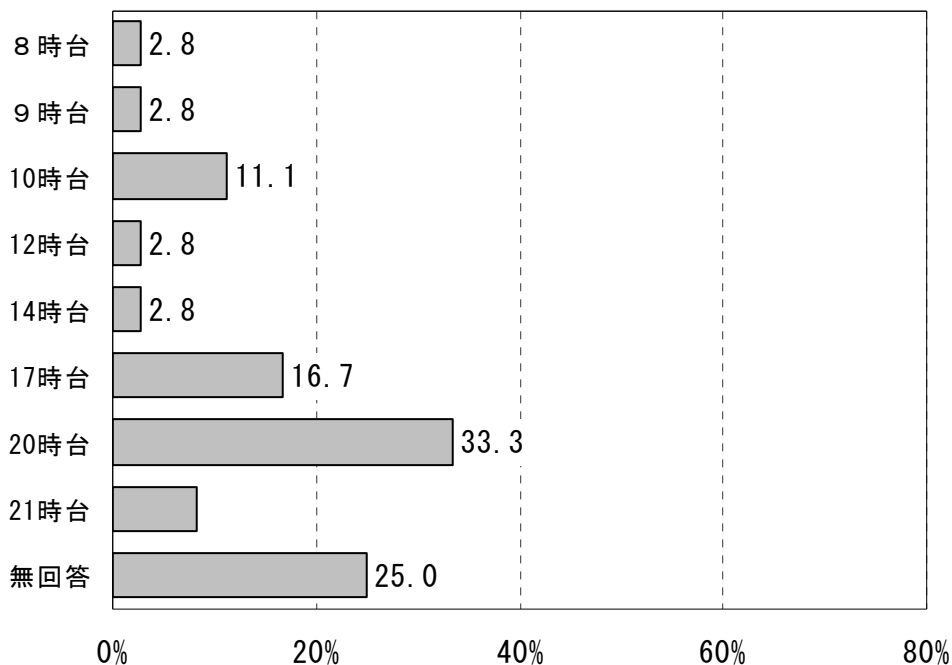


【問8は「航路運航における改善点（問7）」で「運航本数が少ない」を回答した人が対象】

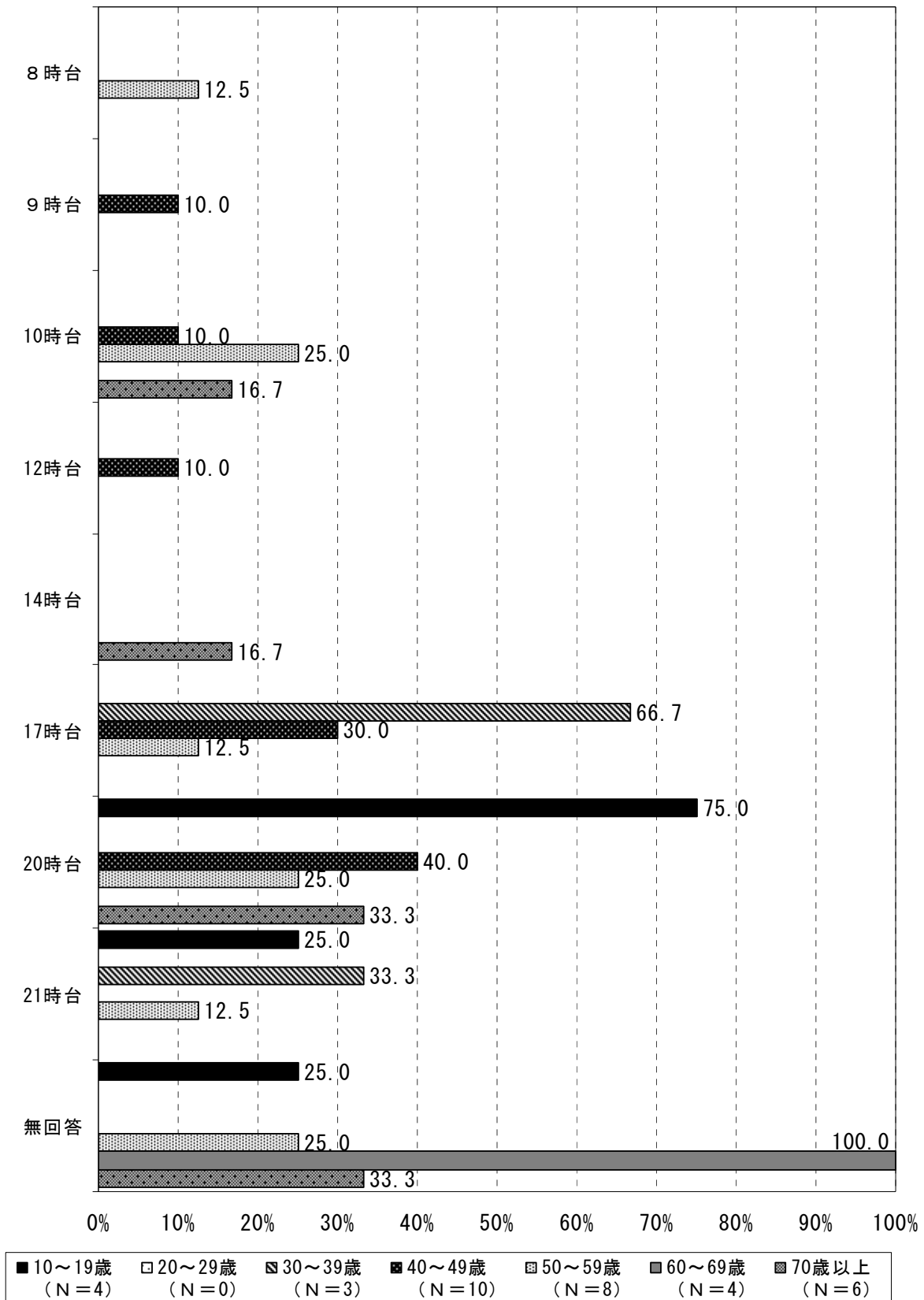
2) 増便希望時間帯（問8）

- ・ 灘線の増便希望時間帯は、「20 時台」が 33.3%と最も多く、「17 時台」が 16.7%、「10 時台」が 11.1%と続いている。
- ・ 洲本線の増便希望時間帯は、「13 時台」が 21.1%と最も多く、「15 時台」が 5.3%と続いている。
- ・ 年齢別にみると、灘線では 10～19 歳は「20 時台」が 75.0%と最も多く、30～39 歳は「17 時台」が 66.7%と最も多く、40 歳以上の世代は「20 時台」が最も多くなっている。洲本線では 10～59 歳は「13 時台」がそれぞれの年代で最も多く、60～69 歳は「15 時台」が 25.0%と最も多くなっている。

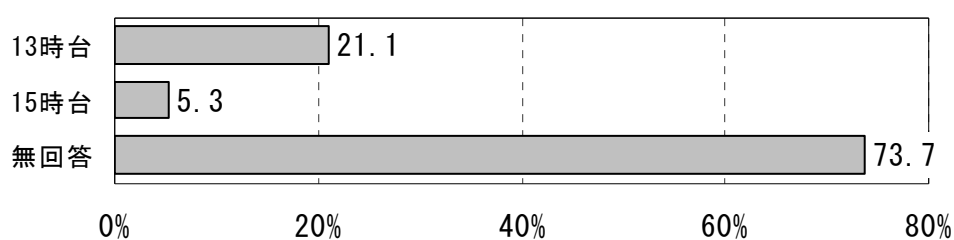
図表 資料-2 4 増便希望時間帯：灘線（複数回答・N=36）



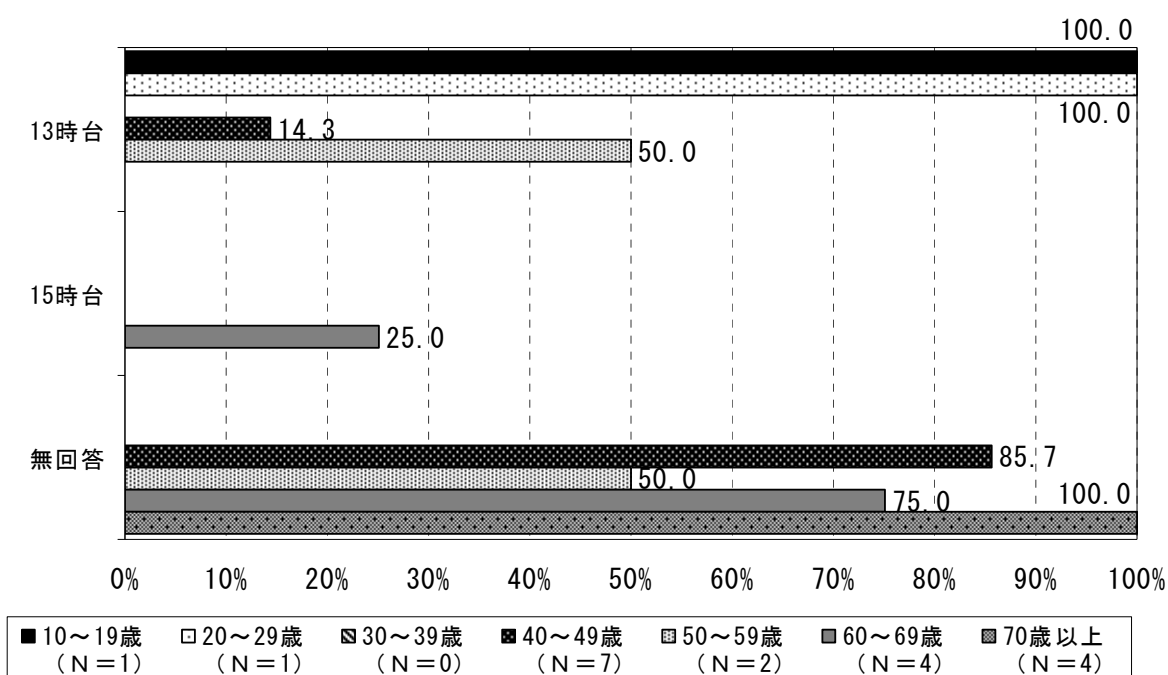
図表 資料-25 増便希望時間帯：灘線（複数回答・年齢別）



図表 資料-2 6 増便希望時間帯：洲本線（複数回答・N=19）



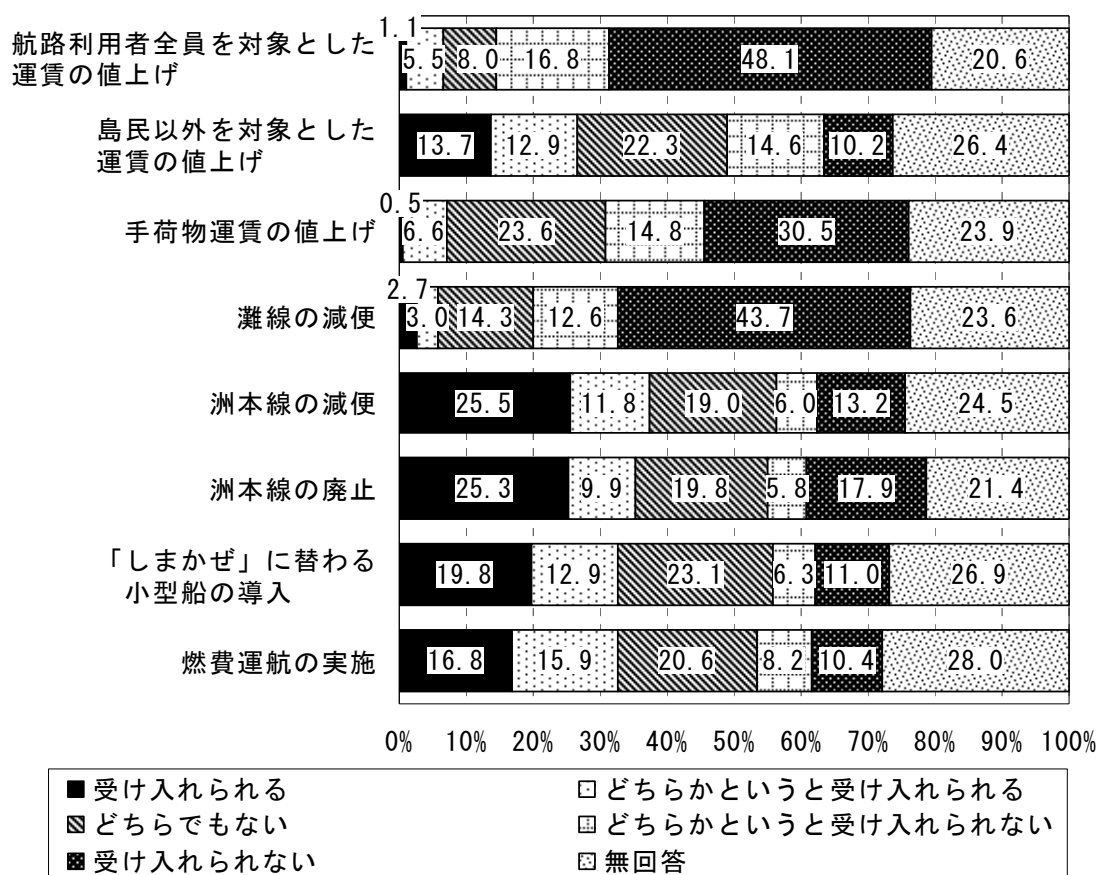
図表 資料-2 7 増便希望時間帯：洲本線（複数回答・年齢別）



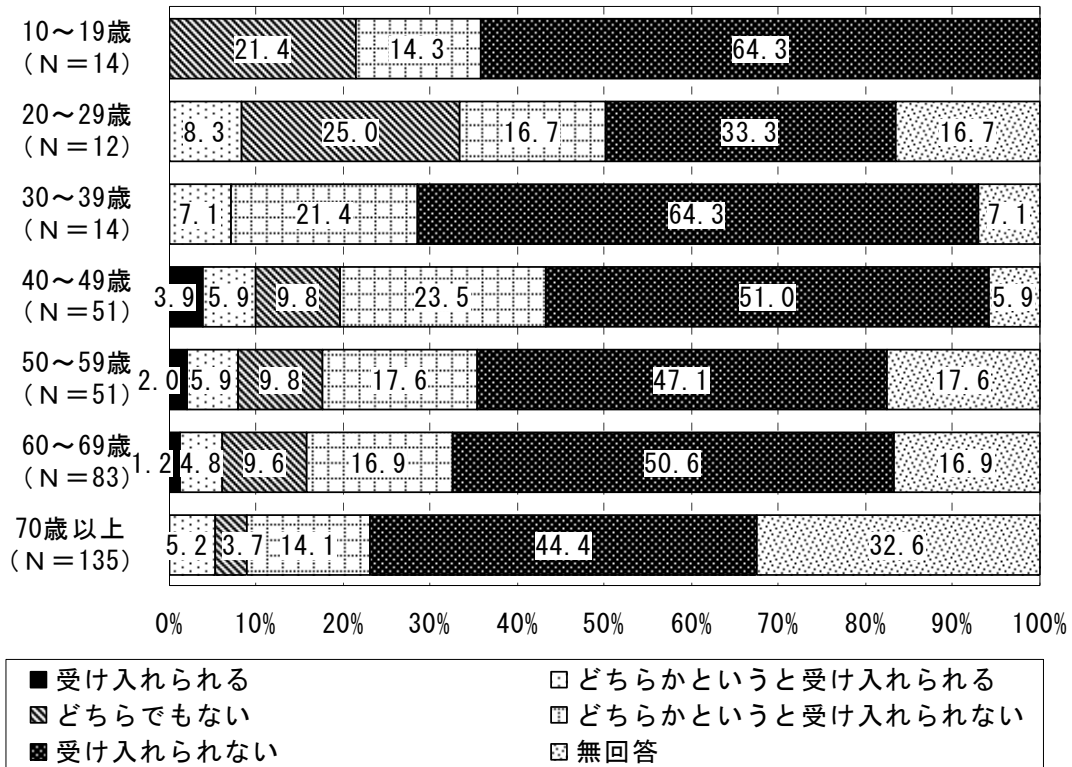
④ 今後の航路の確保・維持のための負担受け入れ可否について

- ・ 航路の確保・維持のための負担を「受け入れられる（「受け入れられる」と「どちらか」といって受け入れられる」の合計）」内容として多かったのは、「洲本線の減便」「洲本線の廃止」「しまかぜ」に替わる小型船の導入」「燃費運航の実施」であった。一方、「受け入れられない内容（「受け入れられない」と「どちらか」といって受け入れられない」の合計）」は、「航路利用者全員を対象とした運賃の値上げ」「瀬線の減便」「手荷物運賃の値上げ」であった。
- ・ 年齢別にみると、「島民以外を対象とした運賃の値上げ」は、60～69歳の「受け入れられない（上記同様）」が32.5%と全体の傾向と違っている。「燃費運航の実施」も、60～69歳の「受け入れられない（上記同様）」が27.7%と全体の傾向と違っている。

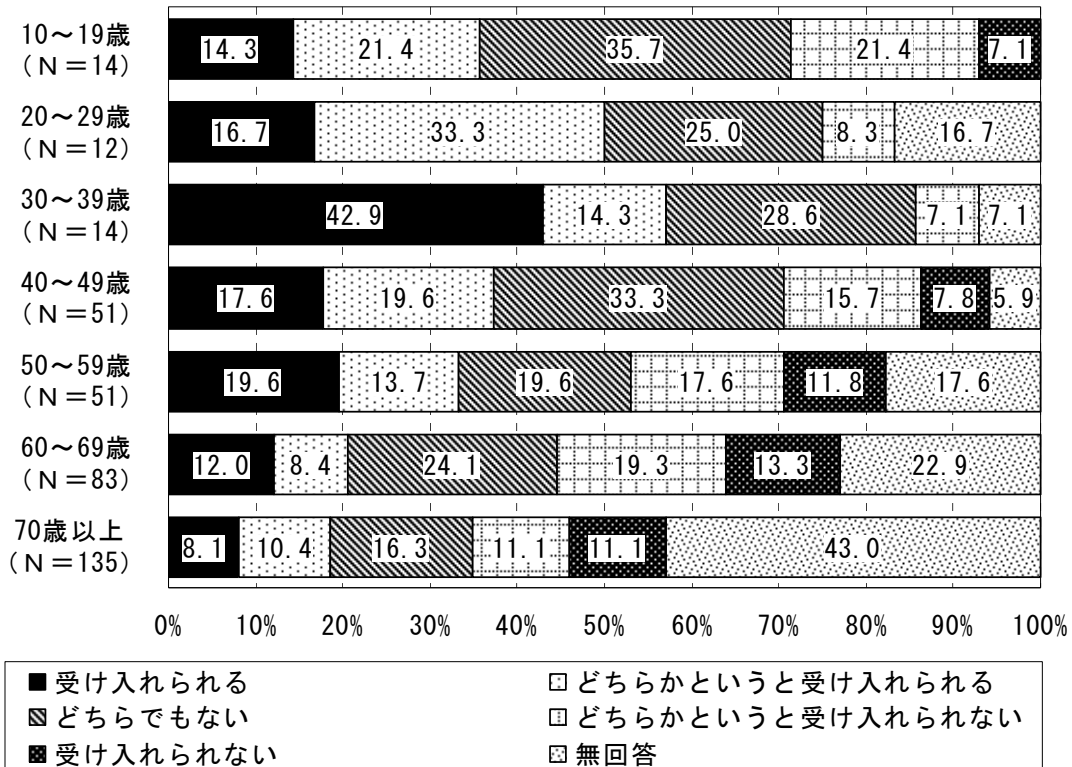
図表 資料-28 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否（N=364）



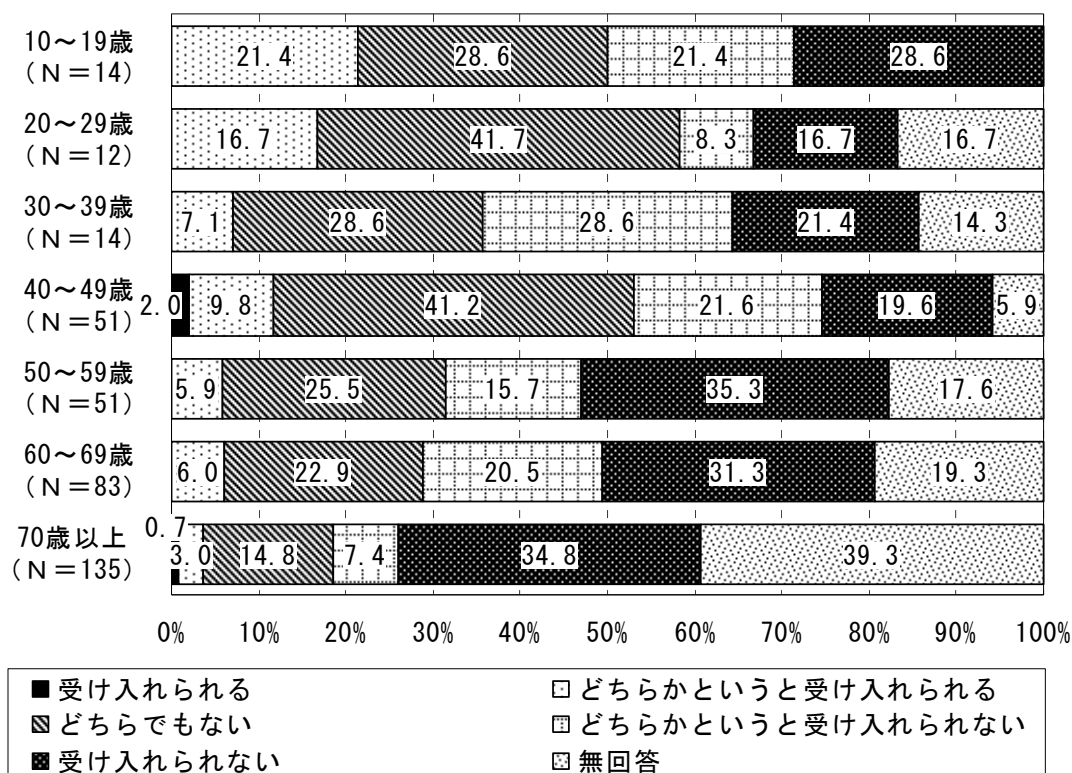
図表 資料-29 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：航路利用者全員を対象とした運賃の値上げ（年齢別）



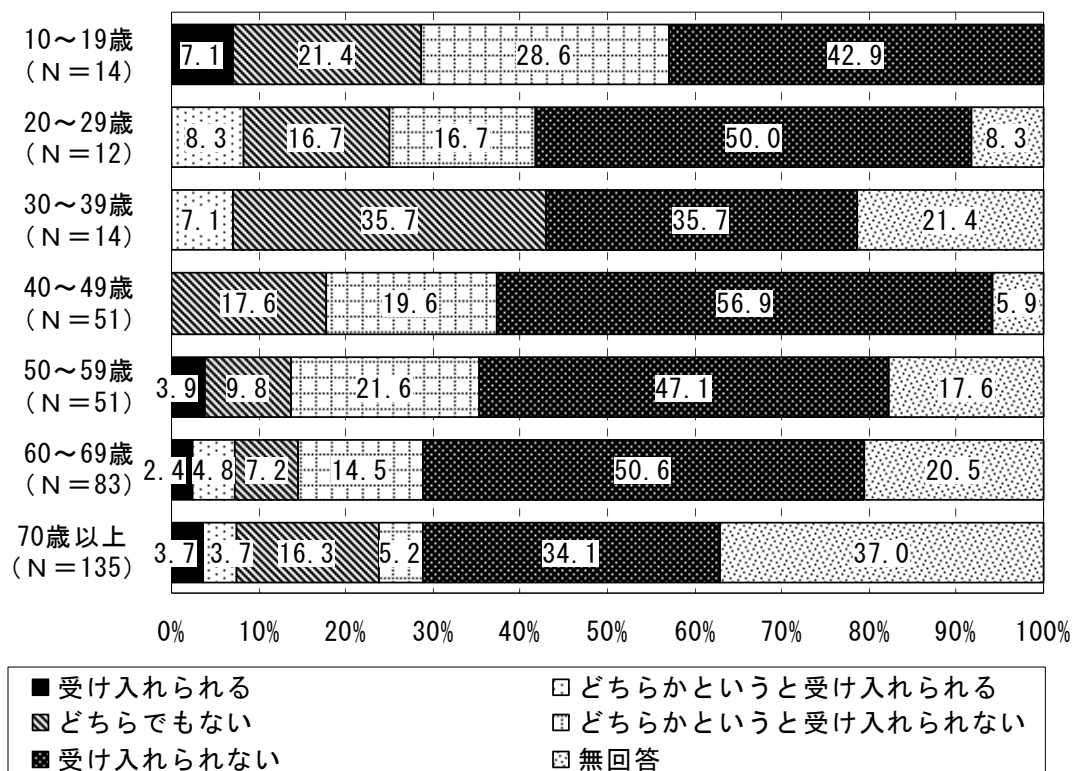
図表 資料-30 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：島民以外を対象とした運賃の値上げ（年齢別）



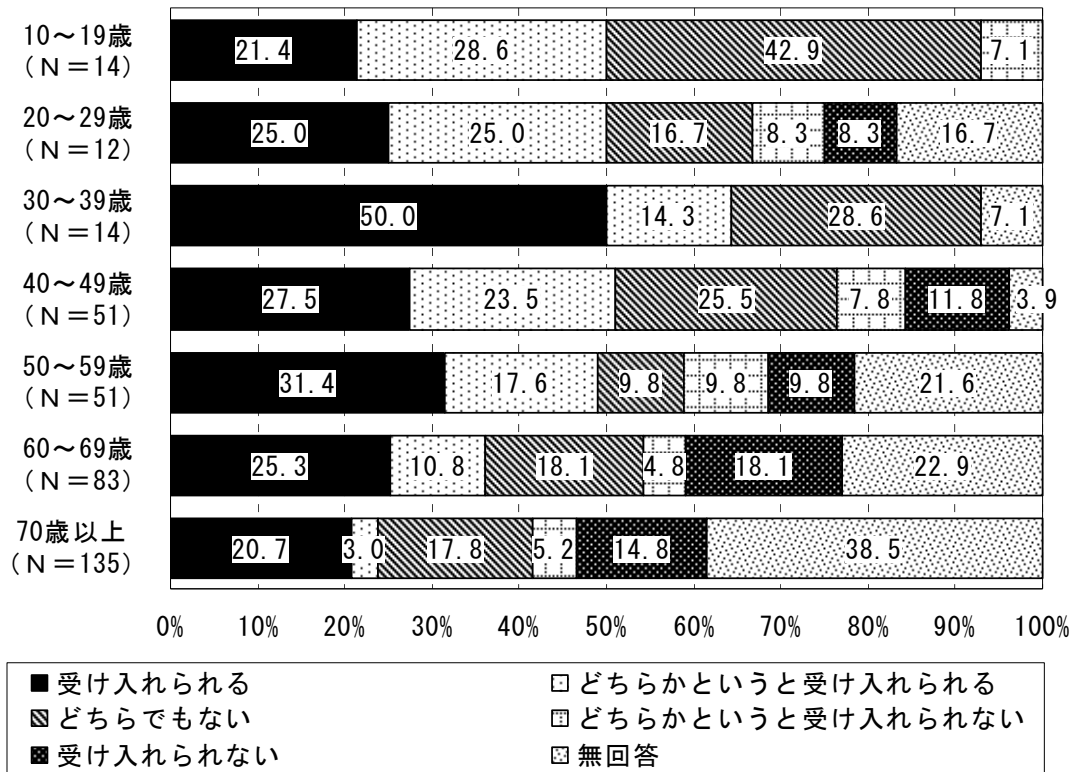
図表 資料-3 1 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：手荷物運賃の値上げ（年齢別）



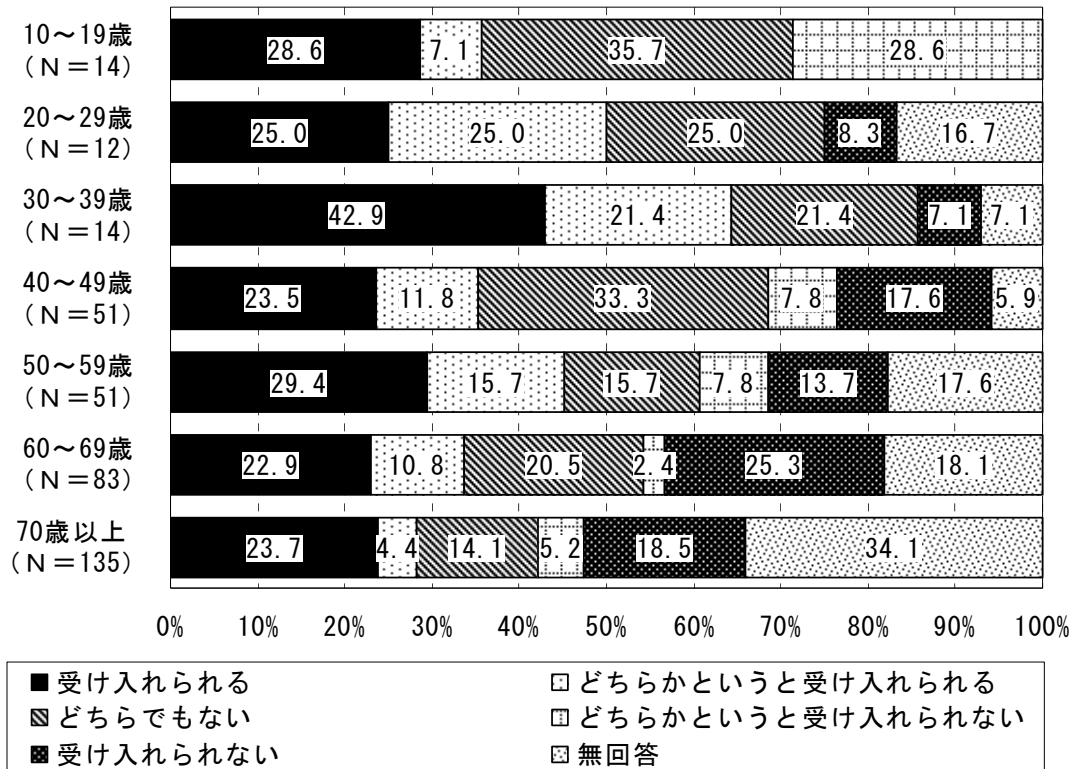
図表 資料-3 2 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：灘線の減便（年齢別）



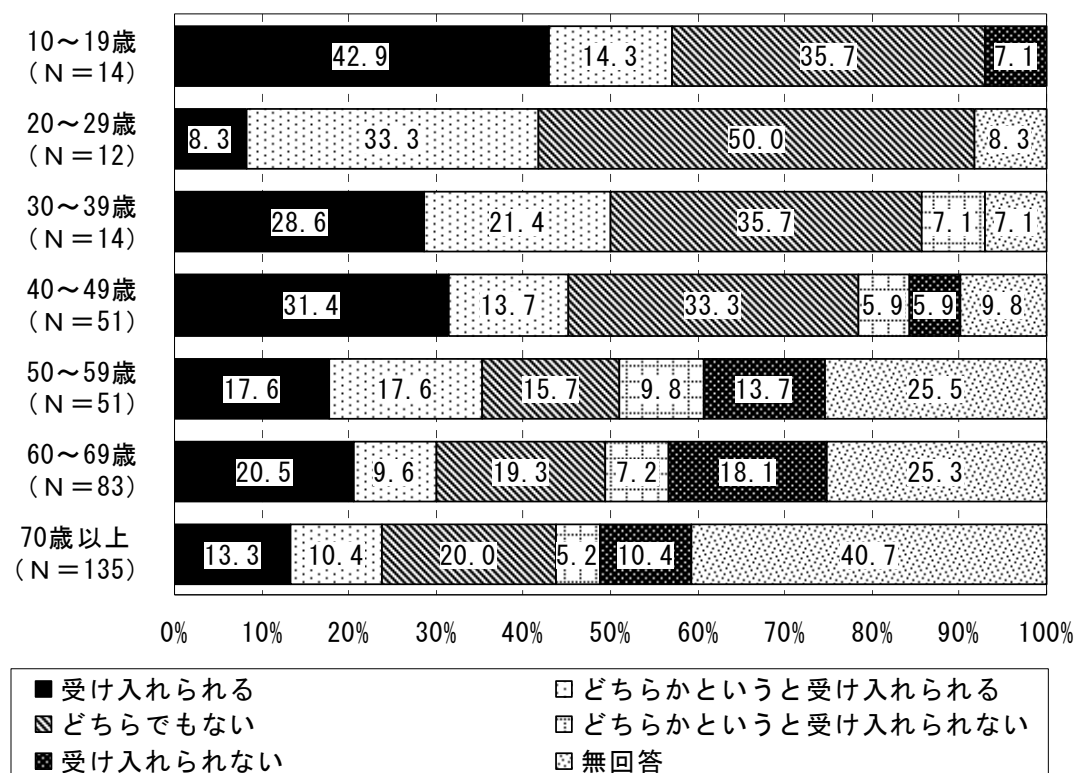
図表 資料-3 3 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
： 洲本線の減便（年齢別）



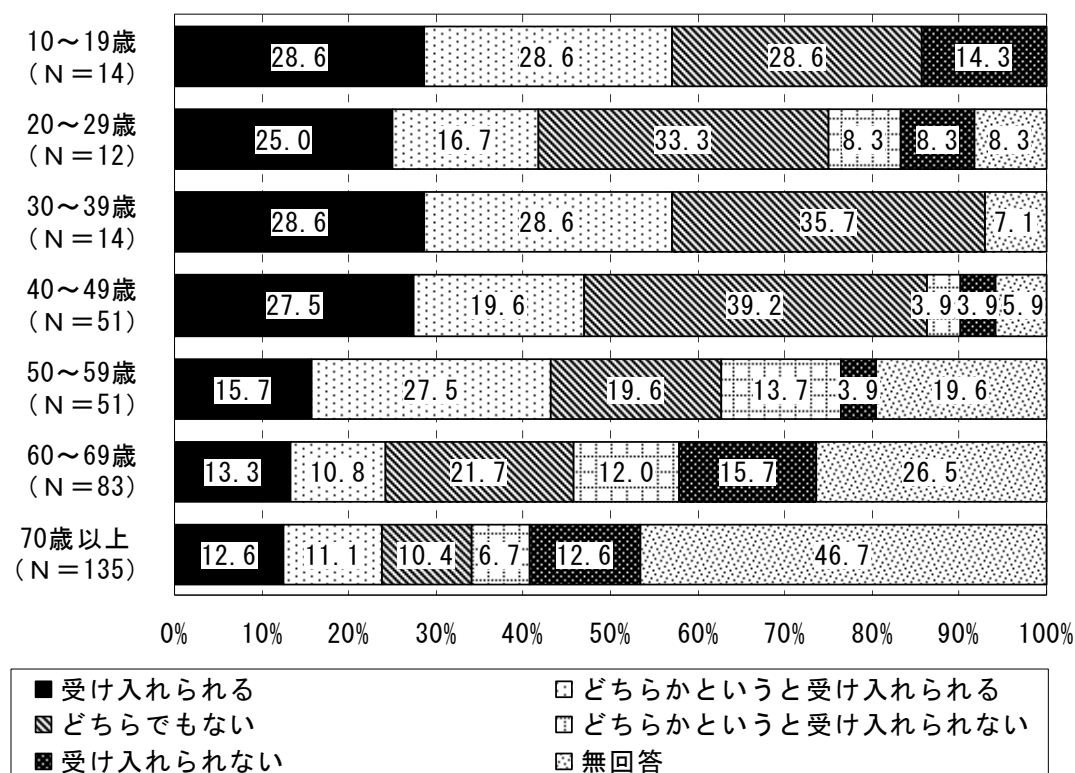
図表 資料-3 4 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
： 洲本線の廃止（年齢別）



図表 資料-35 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：「しまかぜ」に替わる小型船の導入（瀬線の閑散時間帯、洲本線全て）（年齢別）



図表 資料-36 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：燃費運航の実施（年齢別）



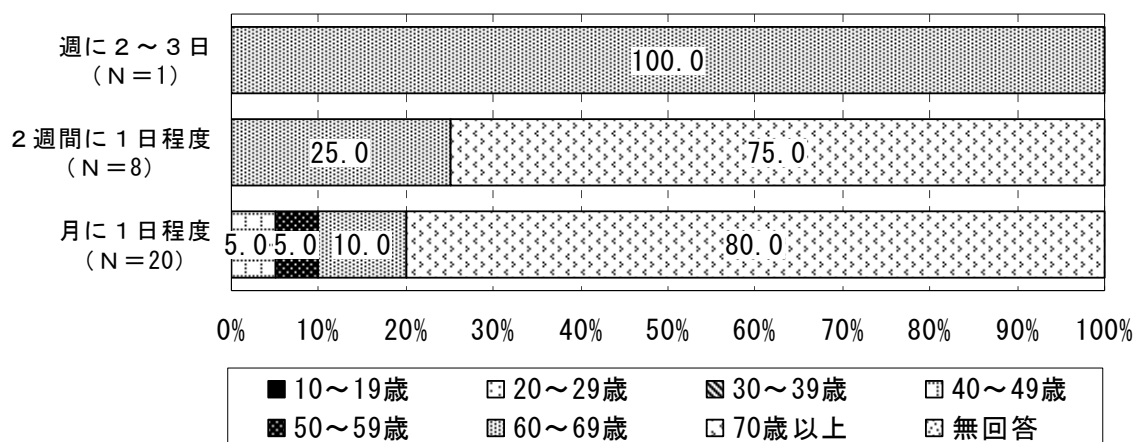
⑤ 洲本線をよく利用する人の利用状況について

以下では、洲本線を月1回以上利用する人を洲本線をよく利用する人とし、洲本線をよく利用されている方の利用実態について明らかにする。

1) 年齢（問1）

- ・回答者の年齢は、「2週間に1日程度」「月に1日程度」とともに「70歳以上」が75.0%、80.0%と多くなっている。

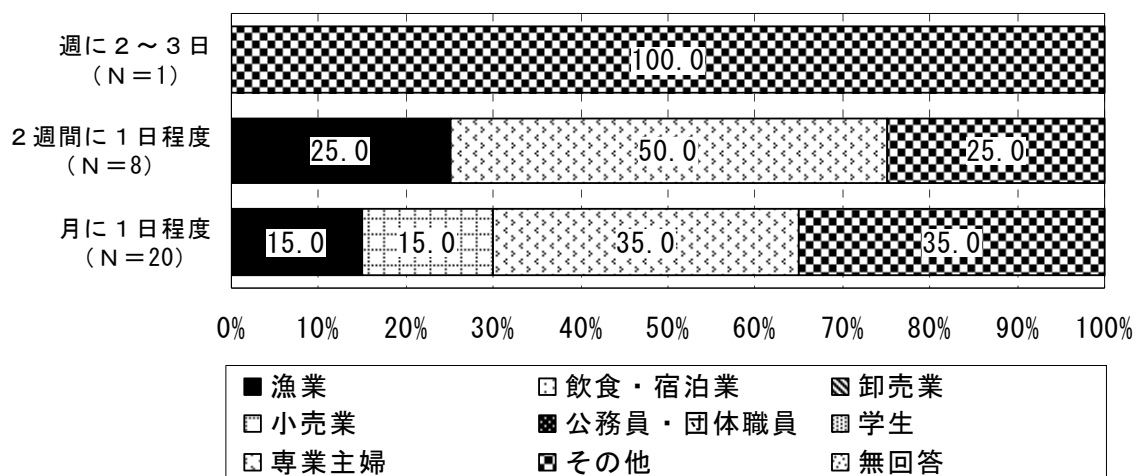
図表 資料-37 年齢：洲本線をよく利用する人



2) 職業（問1）

- ・回答者の職業は、「専業主婦」が多くなっている。

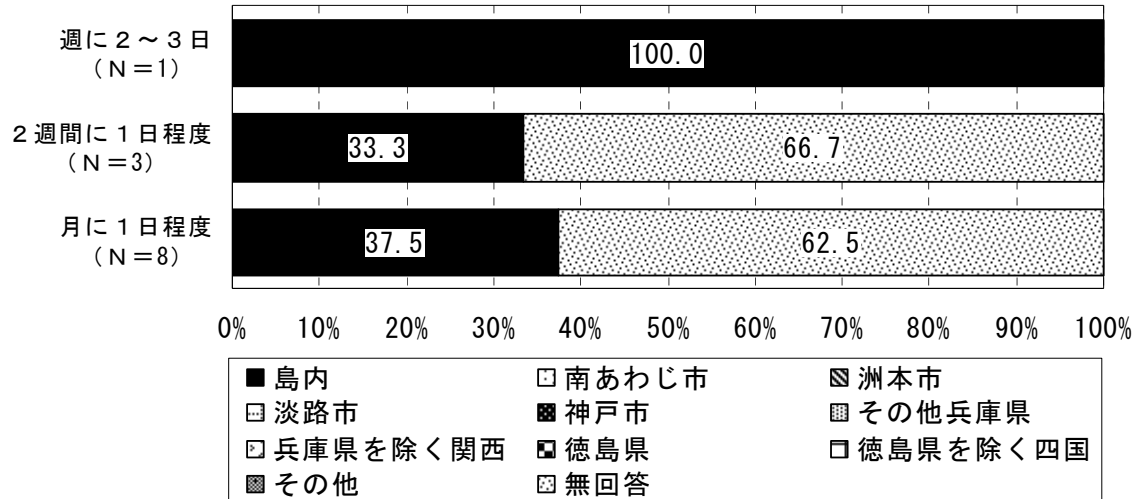
図表 資料-38 職業：洲本線をよく利用する人



3) 通勤地 (問1)

- ・ 回答者の通勤・通学地は、「島内」が多くなっている。

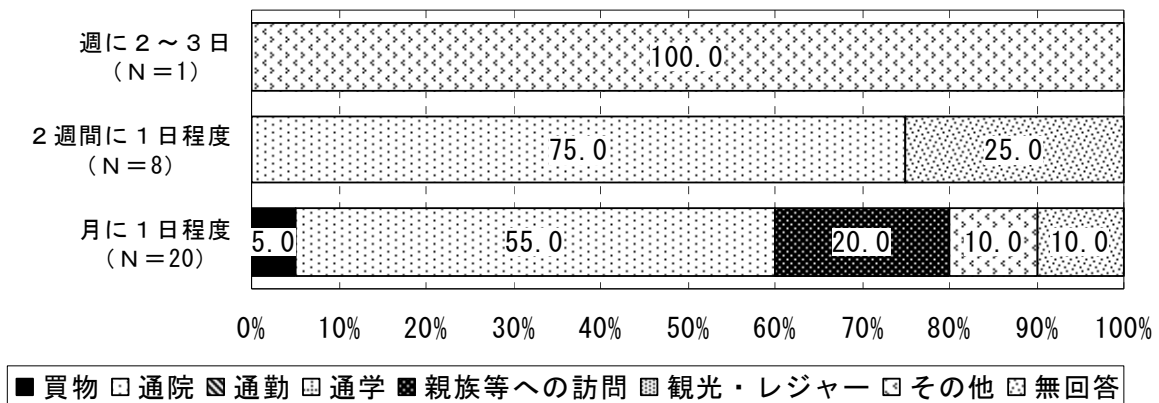
図表 資料-39 通勤地：洲本線をよく利用する人



4) 利用目的 (問4)

- ・ 利用目的は、いずれも「通院」目的が多くなっている。

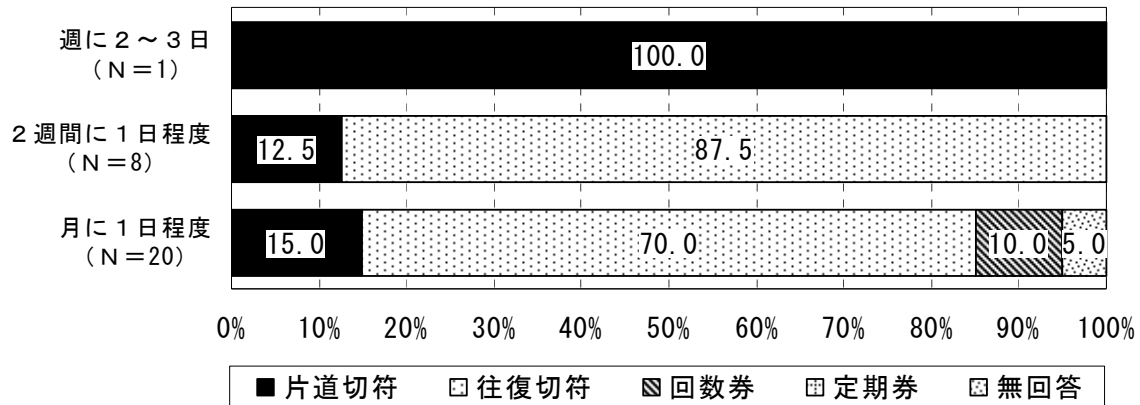
図表 資料-40 利用目的：洲本線をよく利用する人



5) 利用券種 (問5)

- ・ 利用券種類は、「多服切符」による利用がほとんどである。

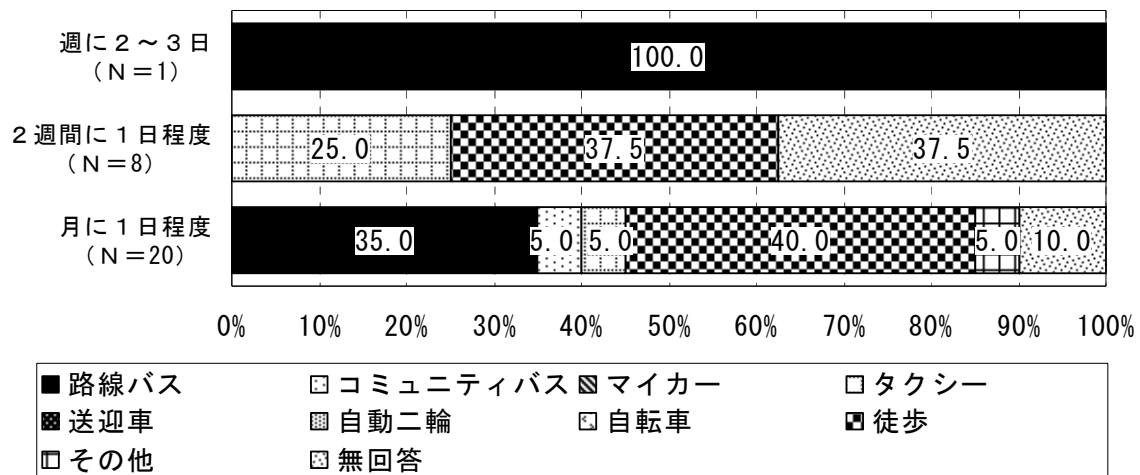
図表 資料-4 1 利用券種：洲本線をよく利用する人



6) 洲本港から目的地までの交通手段 (問6)

- ・ 洲本港から目的地までの交通手段については、「徒歩」や「タクシー」による移動がほとんどである。

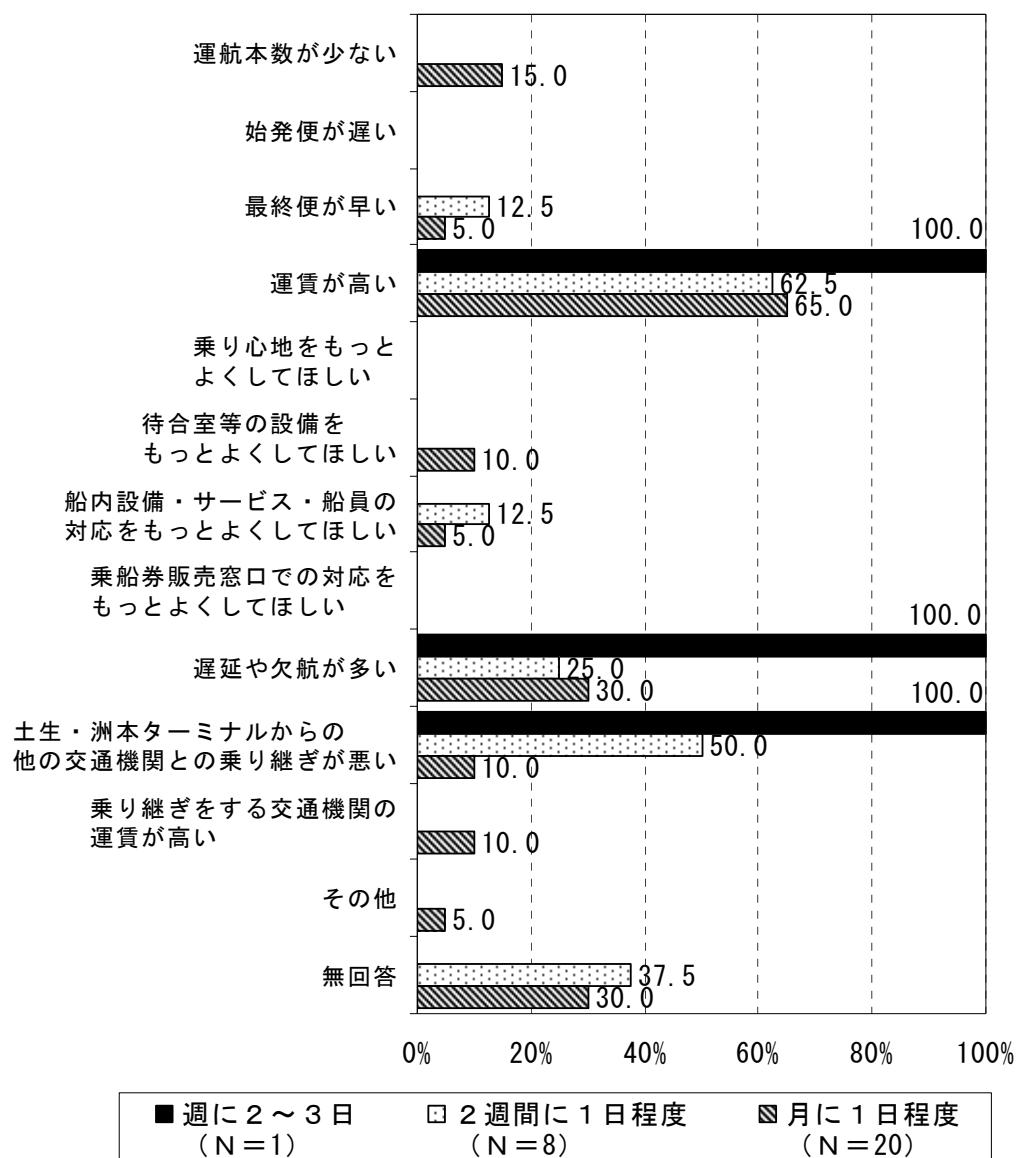
図表 資料-4 2 洲本港から目的地までの交通手段：洲本線をよく利用する人



7) 航路運航の改善要望（問7）

- ・ 洲本線をよく利用する人に航路の改善要望を尋ねたところ、「運賃が高い」という回答が多くなっていた。その他に「遅延や欠航が多い」「土生・洲本ターミナルからの他の交通機関との乗り継ぎが悪い」という回答が多かった。

図表 資料-4 3 航路運航の改善要望：洲本線をよく利用する人

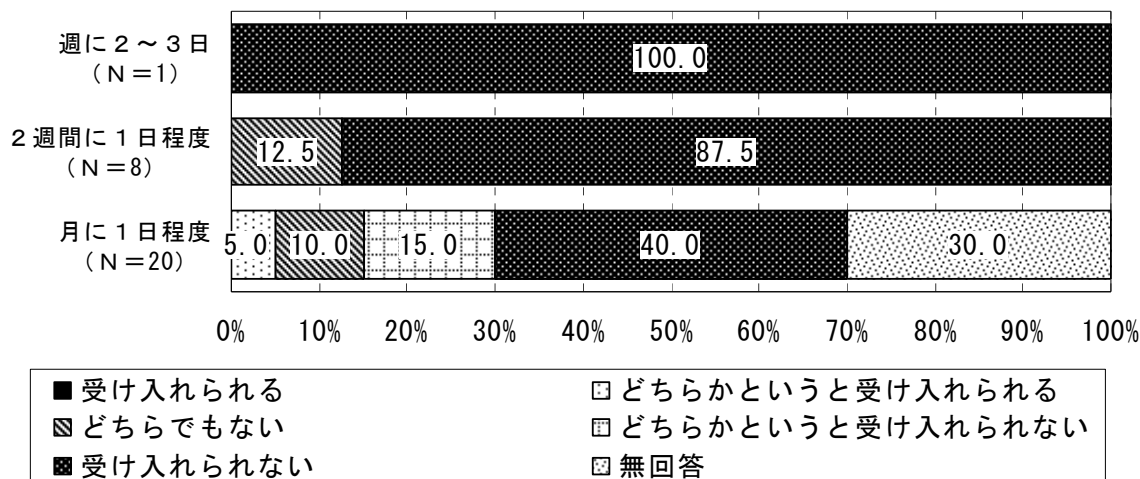


8) 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否（問9）

- ・ 洲本線をよく利用する人に航路の確保・維持のための負担受け入れ可否について尋ねたところ、「洲本線の減便」「洲本線の廃止」とともに、利用頻度が高い方が、受け入れられない傾向にある。

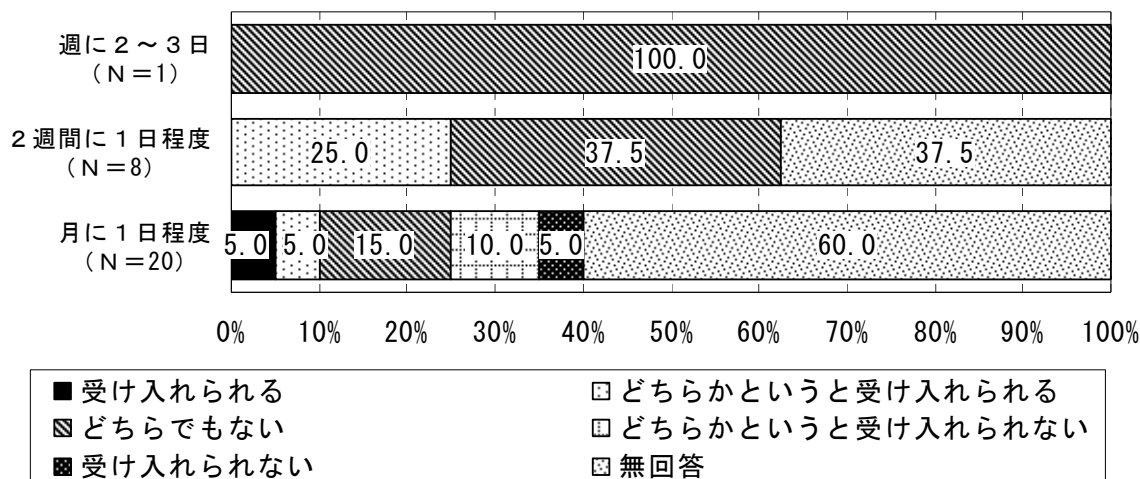
図表 資料-4 4 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

： 航路利用者全員を対象とした運賃の値上げ（洲本線をよく利用する人）

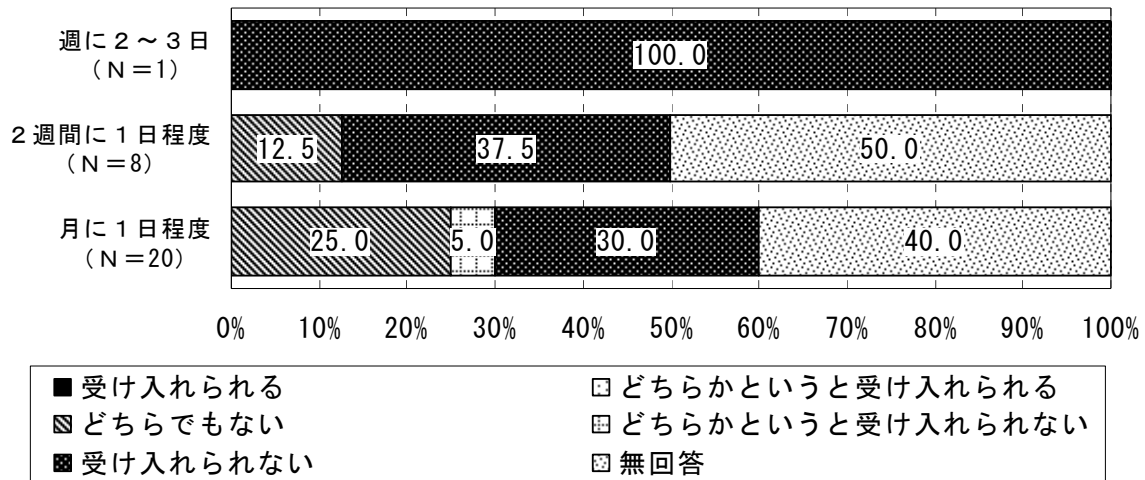


図表 資料-4 5 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

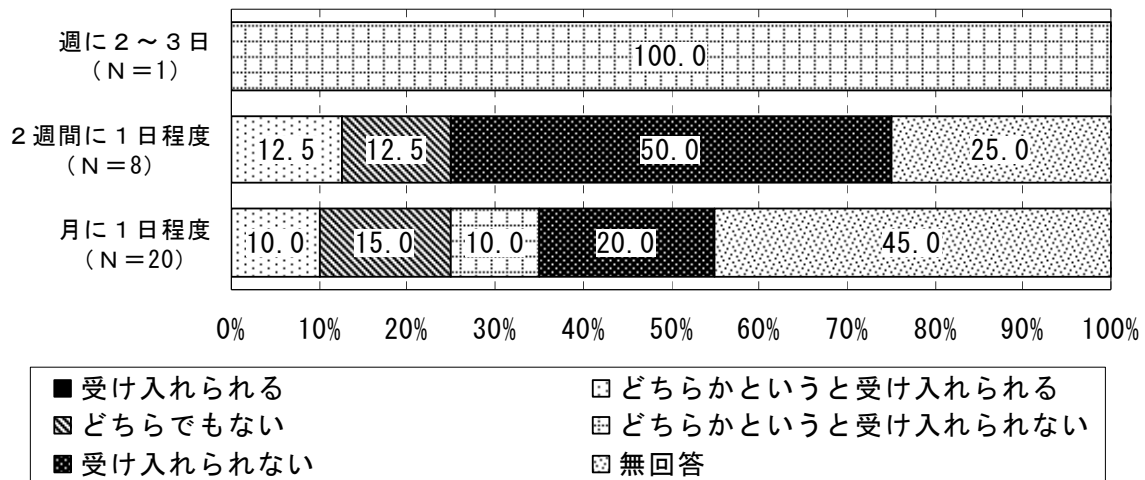
： 島民以外を対象とした運賃の値上げ（洲本線をよく利用する人）



図表 資料-4 6 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：手荷物運賃の値上げ（洲本線をよく利用する人）

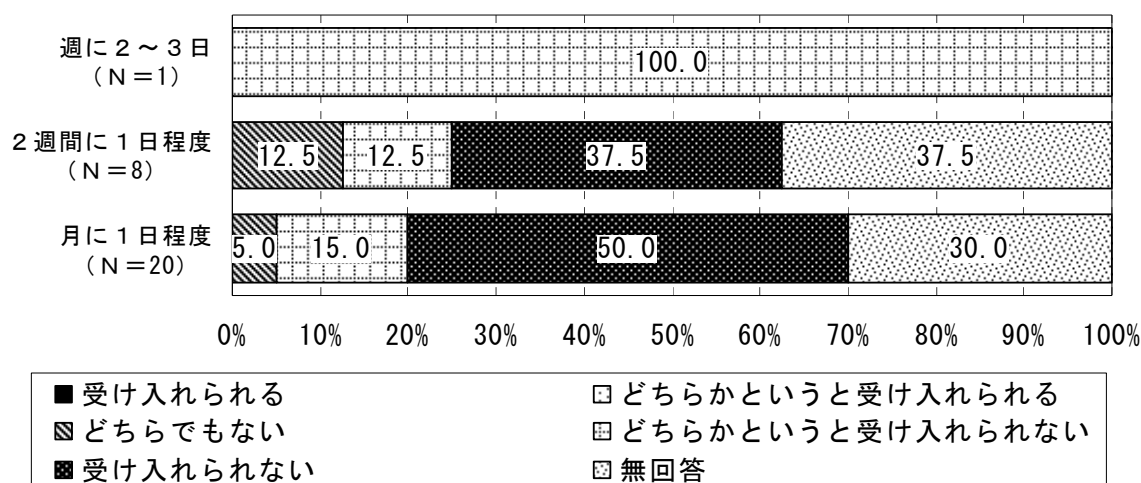


図表 資料-4 7 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否
：灘線の減便（洲本線をよく利用する人）



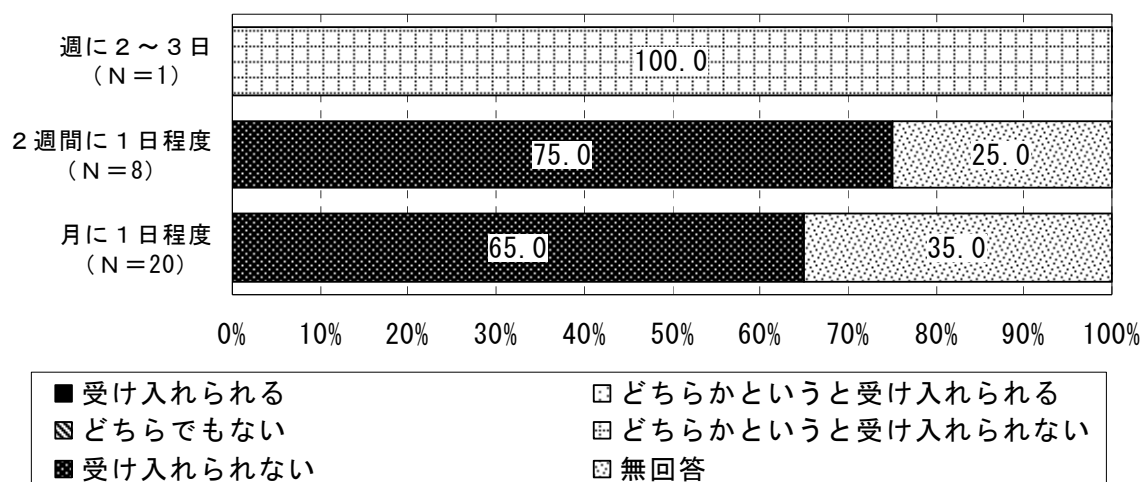
図表 資料-48 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

：洲本線の減便（洲本線をよく利用する人）



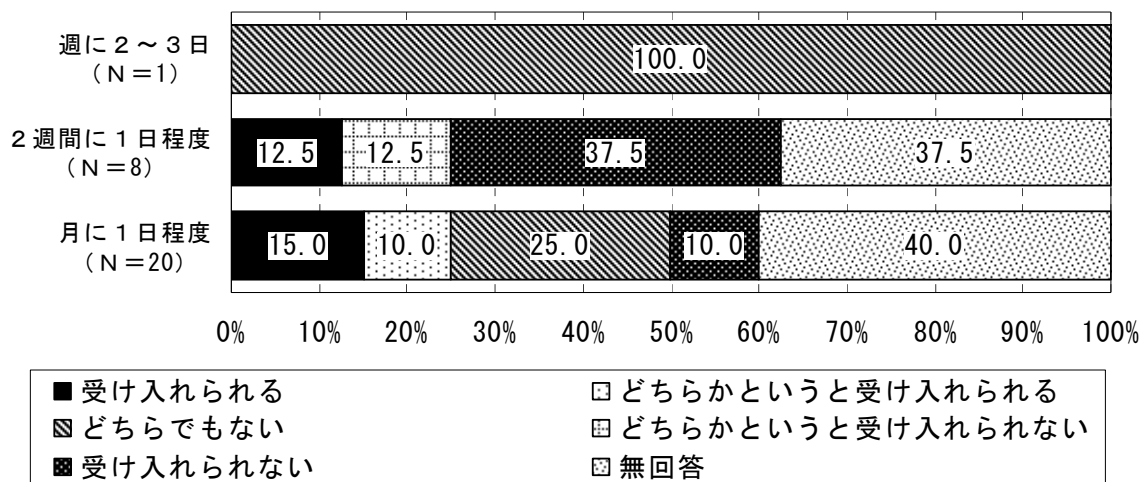
図表 資料-49 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

：洲本線の廃止（洲本線をよく利用する人）



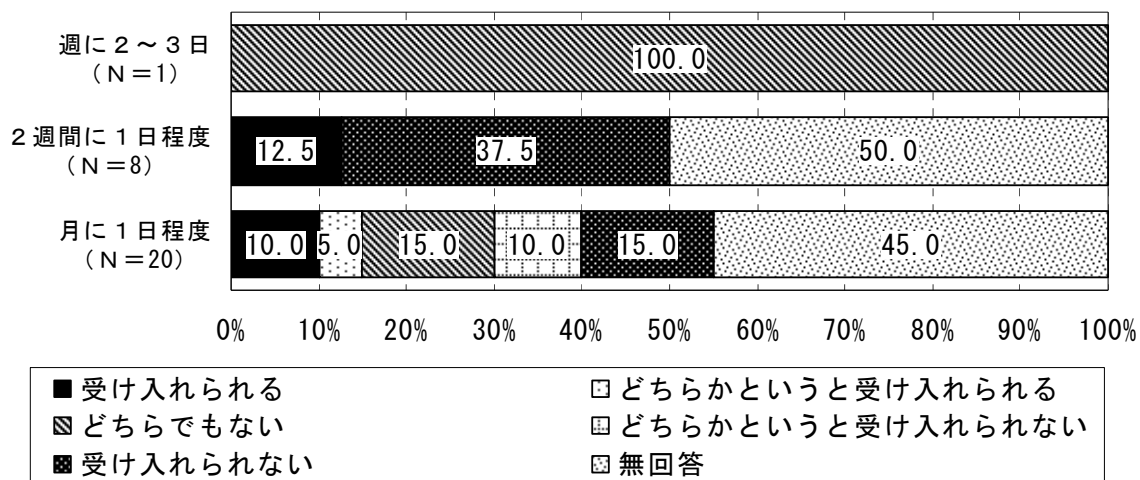
図表 資料-50 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

：「しまかぜ」に替わる小型船の導入（洲本線をよく利用する人）



図表 資料-51 航路の確保・維持のための負担受け入れ可否

：燃費運航の実施（洲本線をよく利用する人）



⑥ 航路の確保・維持や地域の活性化のために必要とされる取組みについて(自由回答)

本調査では、航路の確保・維持や地域の活性化のために必要とされる取組みについて（問10）52件のご意見が寄せられた。内容は下記の通りである。

なお、複数の項目についてご意見いただいた回答はそれぞれの項目に振り分けている。

➤ **運賃値下げ（10 件）**

- ・ 人件費を削減して、船の運賃を安くしてほしい。
- ・ 住民にとっては淡路に出ていく唯一の足なので運賃をもっと下げてほしい。
- ・ 通勤・通学に対しては、運賃を下げてほしいです。

➤ **路線・コミュニティバスとの乗り継ぎ改善（8 件）**

- ・ 船の便が良くなってもバスの便がなかったら何にもなりません。
- ・ 船の運航時間の変更の際は、バスの運営関係者と沼島の島民（バス利用者）と船の運営委員会の人を交えて話し合っていて決めていただきたいと思います。
- ・ コミュニティバスとの連絡が出来ていれば、利用しやすい。

➤ **ダイヤ改正（6 件）**

- ・ 運航を減少して、最終便を遅くしてほしい。
- ・ 若い人達が沼島から通勤出来るように、始発便と最終便の時間を考えてほしいです。

➤ **人員削減（6 件）**

- ・ 海上 10 分なのに、船員の人数が多い。
- ・ 切符を自動販売機にして船員の人数をもっと少なくする。

➤ **人口増加策の推進（6 件）**

- ・ 漁場の再生を早くして、昔のような豊かな海にしましょう。魚が増えれば、人も増えるのではないのでしょうか。
- ・ 老健施設があれば良いと思います。若い人等は島内での就業が出来、人口減少の対策になるとと思います。

➤ **船員の対応改善（5 件）**

- ・ 荷物をたくさん持っても、知らん顔。運賃を払って乗っているのに、客の方が気をつかう。
- ・ 灘での乗船券販売員の対応がものすごく悪いです。とても無愛想です。私達島民はもう慣れているかもしれませんが、観光客や島外から来た人には不快な思いを与えていると感じます。

➤ **洲本線の廃止（5 件）**

- ・ 洲本線廃止して、土生から洲本への直行バス。
- ・ 洲本線の廃止をすれば、運賃を値上げしなくすむ。

➤ 券売機の設置（４件）

- ・ 券売機を設置する。

➤ 増便希望（４件）

- ・ 洲本航路の廃止に伴う灘線の増便。

➤ 欠航を減らす（４件）

- ・ なるべく欠航しないようにしてほしい。

➤ 船内の美化（３件）

- ・ 船に清潔感がないと思う。客船なら掃除も仕事のうちだと思うし、泥まみれで汚い。

➤ 島民の意識向上（３件）

- ・ 住民１人１人が、今後の沼島のあり方を真剣に考えていかないと、衰退してしまいます。

➤ その他（25 件）

- ・ 橋を架けてほしい。
- ・ 島民にとっては、絶対必要な交通手段なので、運賃は、負担にならないような配慮をして、それ以外で船を利用する人からは、もう少し高めな船代を頂いてもいいと思います。
- ・ どうか老人を助けると思い、洲本線を続けてほしい。
- ・ 交流人口の増加、沼島汽船を組み込んだ定期イベント、島内環境の整備。
- ・ 出発前に待合室でのアナウンス。

3. 観光客アンケート調査結果

(1) 調査の概要

調査の概要は以下の通り。

① 調査対象等

- ・ 調査対象：沼島を訪れた観光客・ツアー客を対象に調査票を配布
- ・ 調査期間：平成 25 年 11 月上旬～11 月下旬
- ・ 調査方法：観光ボランティアガイド「ぬぼこの会」を通じて配布・回収
- ・ 回収率：有効回答数 137 通

② 調査項目等

- ・ 回答者属性（問 1）
- ・ 沼島を訪れたきっかけと航路の利用状況について（問 2～問 8）
- ・ 沼島の印象ともう一度訪れたいか（問 9～問 10）
- ・ 改善してもらいたい点について（問 11～13）
- ・ 沼島に関する自由意見（問 14～15）

③ 調査結果の見方

- ・ 調査結果の分析に当たっては、有効回答数を N 数として表示している。
- ・ 百分率（％）は、原則として少数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位までを表示している。また、四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

④ 調査結果・分析

- ・ 調査結果・分析は次頁以降に記載の通りである。

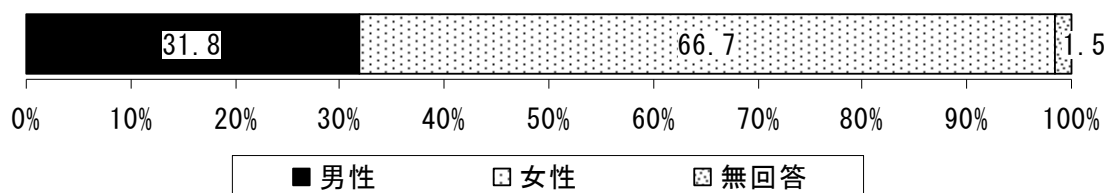
(2) 調査結果・分析

① 回答者ご自身のことについて（回答者属性）

1) 性別（問1）

- ・回答者の性別は、「男性」が31.8%、「女性」が66.7%となっている。

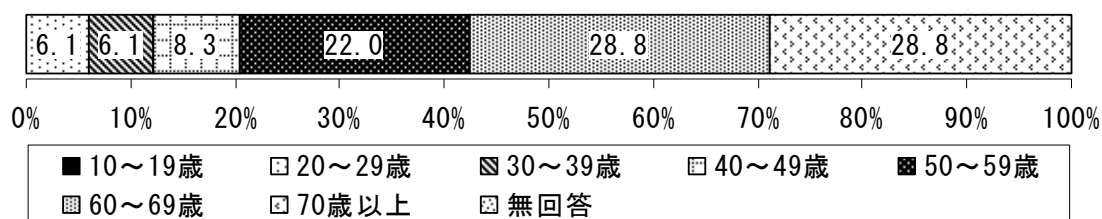
図表 資料-5 2 性別（N=132）



2) 年齢（問1）

- ・回答者の年齢は、「60～69歳」「70歳以上」が28.8%と最も多く、「50～59歳」が22.0%と続いている。

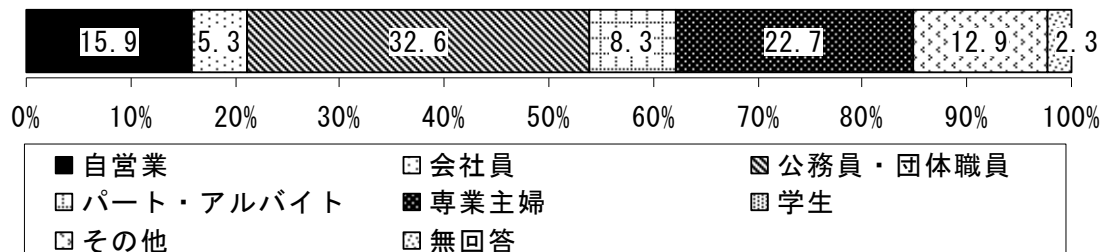
図表 資料-5 3 年齢（N=132）



3) 職業（問1）

- ・回答者の職業は、「公務員・団体職員」が32.6%と最も多く、「専業主婦」が22.7%、「自営業」が15.9%と続いている。

図表 資料-5 4 職業（N=132）



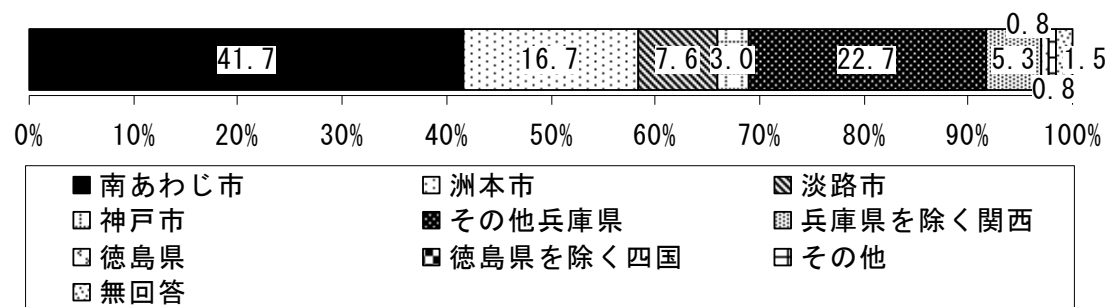
【その他（17件）】

・農業（4件） ・無職（3件） ・その他（1件） ・無回答（9件）

4) 居住地（問1）

- ・回答者の居住地は、「南あわじ市」が 41.7%と最も多く、「その他兵庫県」が 22.7%、「洲本市」が 16.7%と続いている。

図表 資料-55 居住地（N=132）



【その他（1件）】

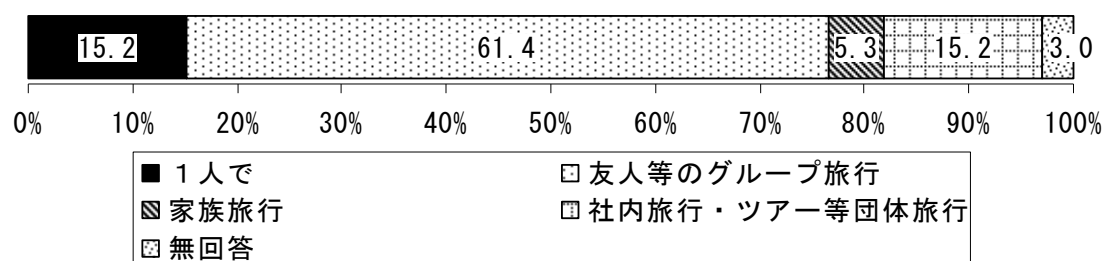
- ・千葉県（1件）

② 沼島を訪れたきっかけと航路の利用状況について

1) 同行者（問2）

- ・同行者は、「友人等のグループ旅行」が 61.4%と最も多く、「1人で」「社内旅行・ツアー等団体旅行」が 15.2%と続いている。

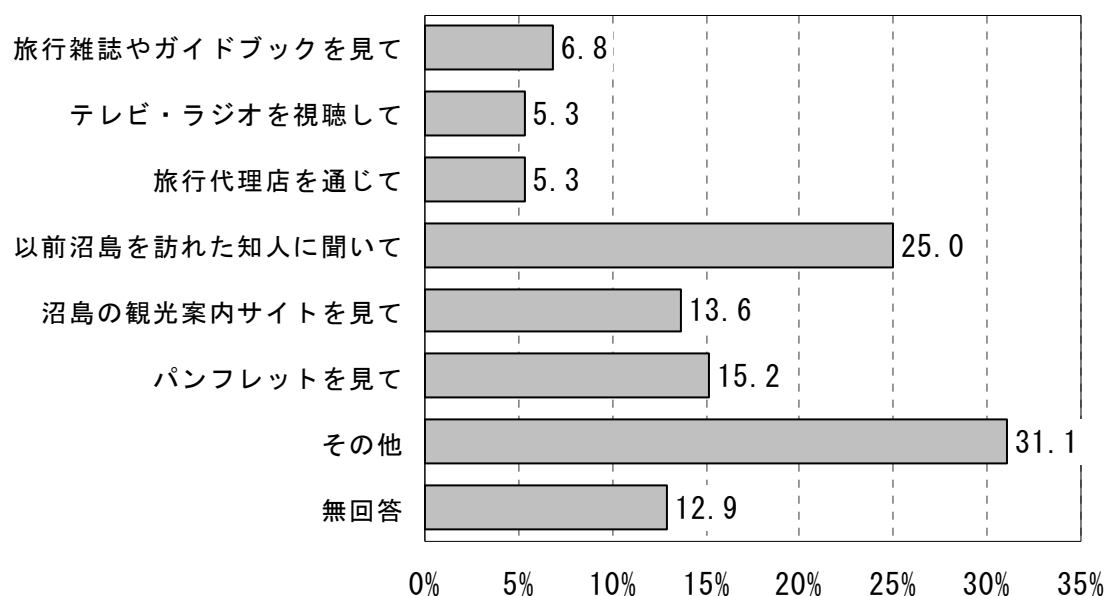
図表 資料-5 6 同行者（N=132）



2) 観光情報の入手方法（問3）

- ・観光情報の入手方法は、「以前沼島を訪れた知人に聞いて」が 25.0%と最も多く、「パンフレットを見て」が 15.2%、「沼島の観光案内サイトを見て」が 13.6%と続いている。

図表 資料-5 7 観光情報の入手方法（複数回答・N=132）



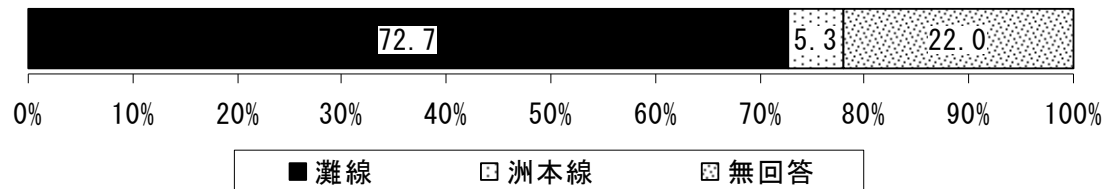
【その他（41件）】

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| ・神話の勉強（5件） | ・俳句のため（4件） | ・同窓会のため（2件） |
| ・友人から（2件） | ・何度も訪れている（2件） | ・仕事、研修（2件） |
| ・その他（6件） | ・無回答（19件） | |

3) 利用航路 (問4)

- ・ 利用航路は、「灘線」が72.7%と多く、「洲本線」は5.3%となっている。

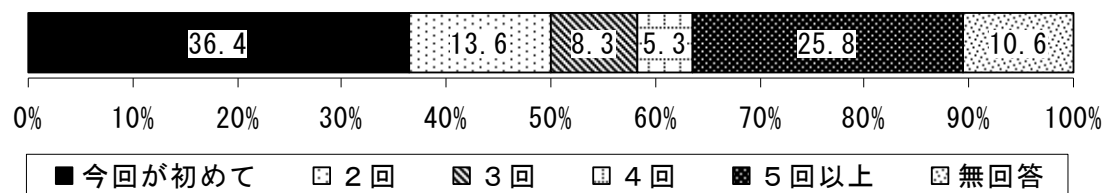
図表 資料-58 利用航路 (N=132)



4) 来島回数 (問5)

- ・ 来島回数は、「今回が初めて」が36.4%と最も多く、「5回以上」が25.8%、「2回」が13.6%と続いている。

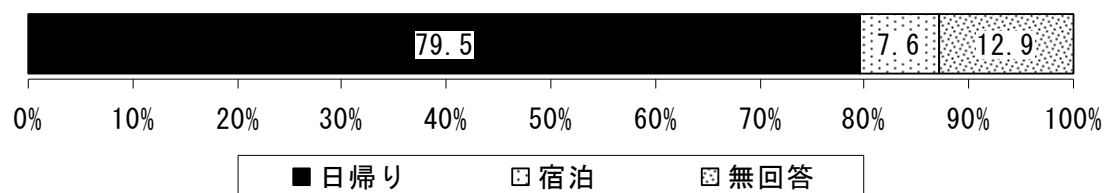
図表 資料-59 来島回数 (N=132)



5) 滞在期間 (問6)

- ・ 滞在期間は、「日帰り」が79.5%と多く、「宿泊」が7.6%となっている。

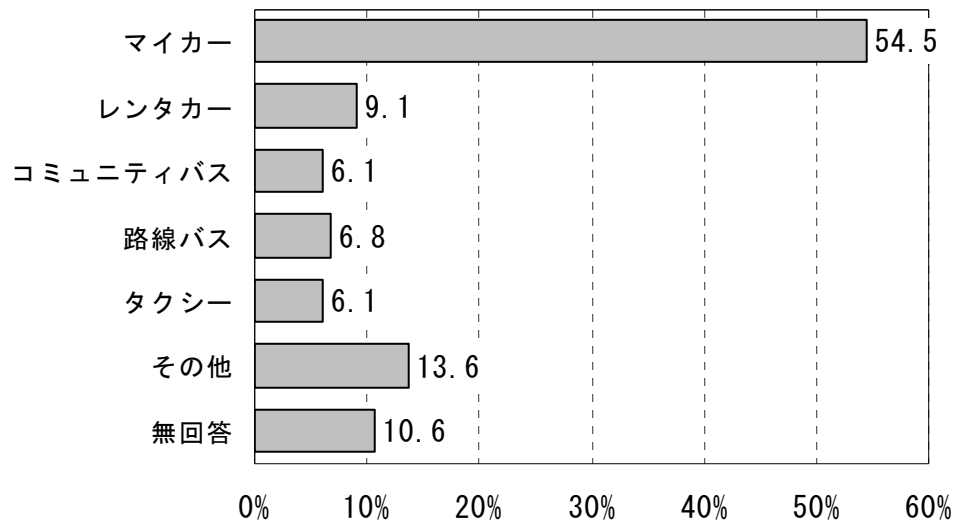
図表 資料-60 滞在期間 (N=132)



6) 土生港・洲本港までの交通手段（問7）

- ・土生港・洲本港までの交通手段は、「マイカー」が54.5%と最も多く、「レンタカー」が9.1%、「路線バス」が6.8%と続いている。

図表 資料-6 1 土生港・洲本港までの交通手段（複数回答・N=132）



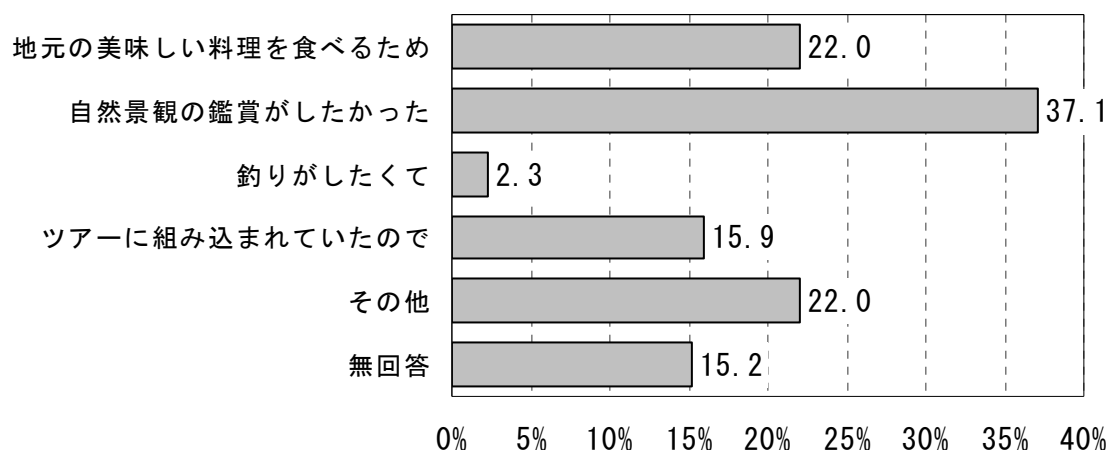
【その他（18件）】

・その他バス（観光、貸切等）（8件） ・友人の車（2件） ・無回答（8件）

7) 来島目的（問8）

- ・来島目的は、「自然景観の鑑賞がしたかった」が37.1%と最も多く、「地元の美味しい料理を食べるため」が22.0%、「ツアーに組み込まれていたの」が15.9%と続いている。

図表 資料-6 2 来島目的（2つまで回答・N=132）



【その他（29件）】

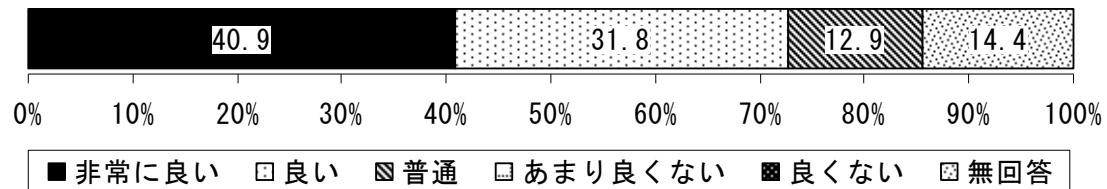
・神話、歴史を学ぶため（11件） ・吟行（5件） ・同窓会（4件）
 ・仕事（3件） ・無回答（2件） ・その他（4件）

③ 沼島の印象ともう一度訪れたいか

1) 沼島を訪れた印象（問9）

- ・ 沼島を訪れた印象は、「非常に良い」が40.9%と最も多く、「良い」が31.8%、「普通」が12.9%と続いている。

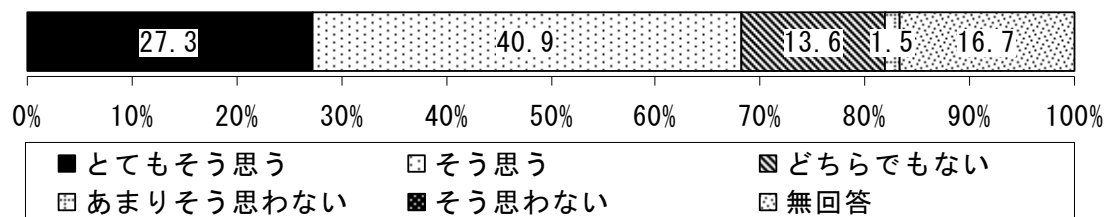
図表 資料-6 3 沼島を訪れた印象（N=132）



2) もう一度沼島を訪れたいか（問10）

- ・ もう一度沼島を訪れたいかについては、「そう思う」が40.9%と最も多く、「とてもそう思う」が27.3%、「どちらでもない」が13.6%と続いている。

図表 資料-6 4 もう一度沼島を訪れたいか（N=132）



【理由：とてもそう思う（36件）】

- ・ 自然・景色が良いから（6件）
- ・ 食べ物おいしいから（3件）
- ・ 無回答（23件）
- ・ 人とのふれあい（4件）
- ・ その他（4件）

【理由：そう思う（54件）】

- ・ 食べ物おいしいから（9件）
- ・ 歴史がある（4件）
- ・ 無回答（33件）
- ・ 自然・景色が良いから（5件）
- ・ その他（8件）

【理由：どちらでもない（18件）】

- ・ おいしい魚を食べてみたい（1件）
- ・ 無回答（16件）
- ・ 新たに観たい場所が減った（1件）

【理由：あまりそう思わない（2件）】

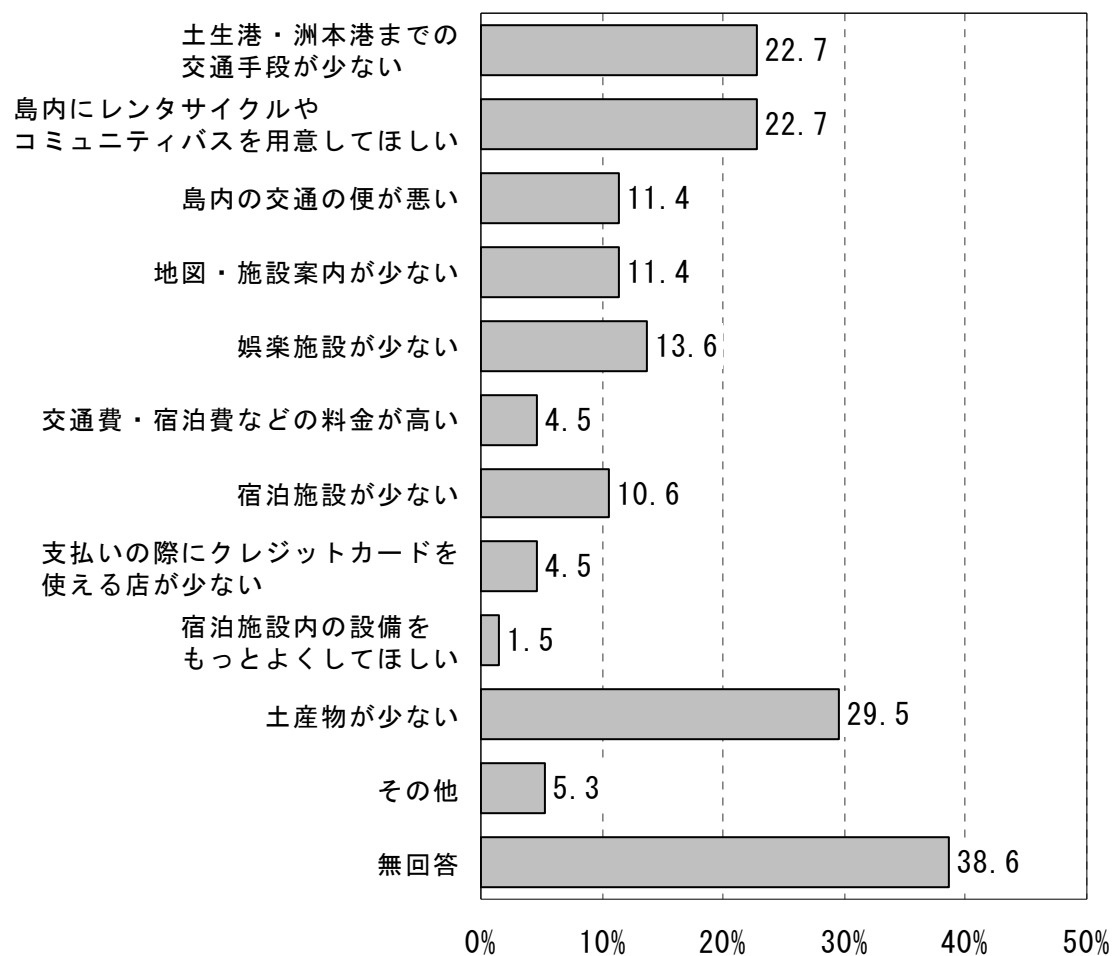
- ・ 無回答（2件）

④ 改善してもらいたい点について

1) 島内観光における改善要望（問11）

- ・島内観光における改善要望は、「土産物が少ない」が29.5%と最も多く、「土生港・洲本港までの交通手段が少ない」「島内にレンタサイクルやコミュニティバスを用意してほしい」が22.7%と続いている。

図表 資料-65 島内観光における改善点（複数回答・N=132）



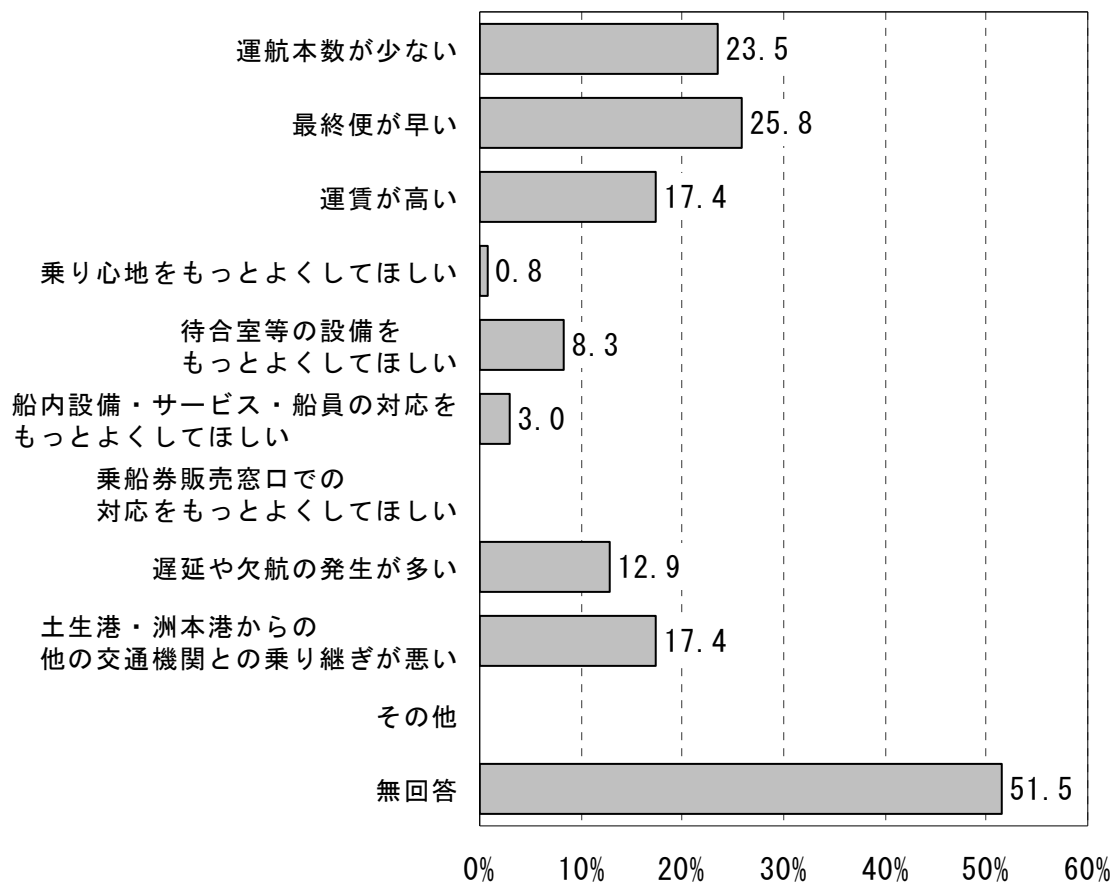
【その他（7件）】

・飲食店の充実（2件） ・その他（4件） ・無回答（1件）

2) 航路運航における改善要望（問 12）

- ・ 航路運航における改善要望は、「最終便が早い」が 25.8%と最も多く、「運航本数が少ない」が 23.5%、「運賃が高い」「土生港・洲本港からの他の交通機関との乗り継ぎが悪い」が 17.4%と続いている。

図表 資料-66 航路運航における改善点（複数回答・N=132）

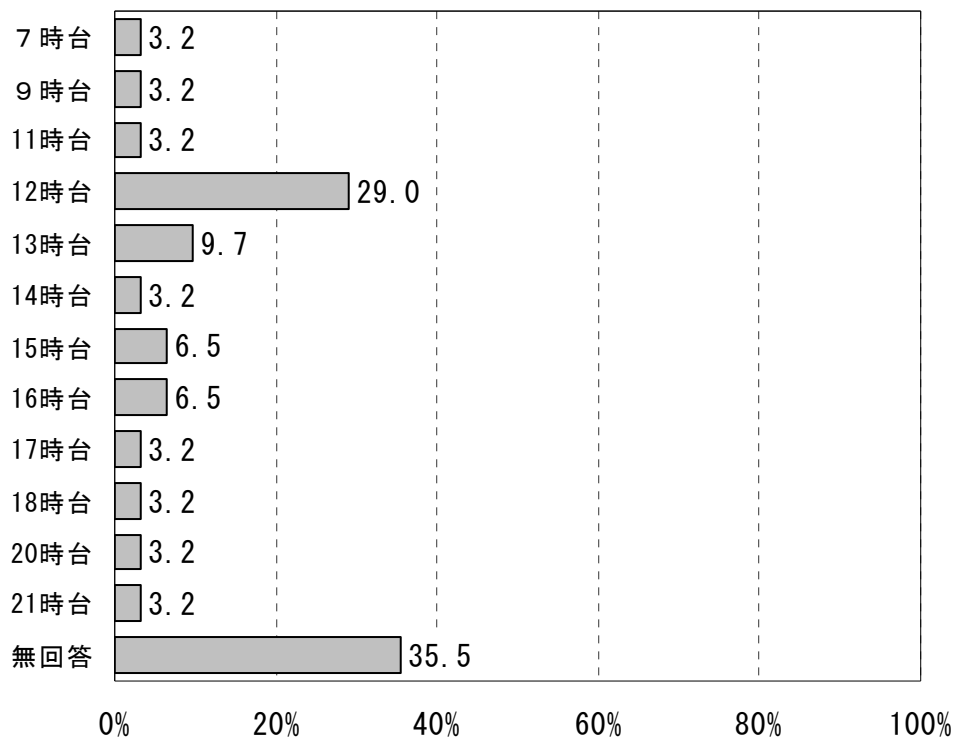


【問13は「航路運航における改善点（問12）」で「運航本数が少ない」を回答した人が対象】

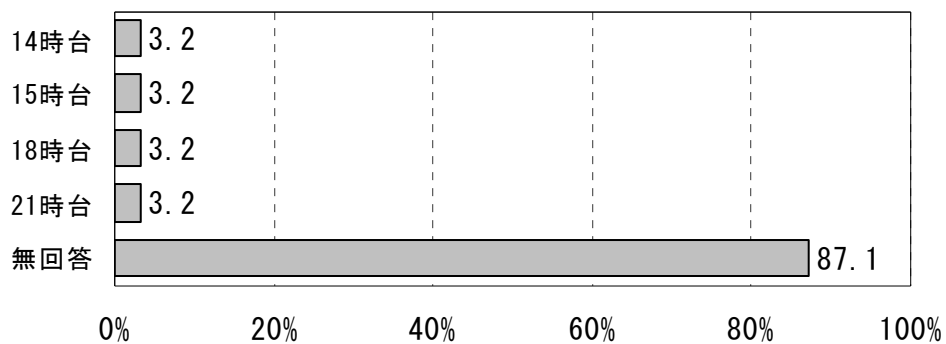
3) 増便希望時間帯（問13）

- ・ 灘線の増便希望時間帯は、「12 時台」が 29.0%と最も多く、「13 時台」が 9.7%、「15 時台」「16 時台」が 6.5%と続いている。
- ・ 洲本線の増便希望時間帯は、「14 時台」「15 時台」「18 時台」「21 時台」が 3.2%となっている。

図表 資料-6 7 増便希望時間帯：灘線（複数回答・N=31）



図表 資料-6 8 増便希望時間帯：洲本線（複数回答・N=31）



⑤ 沼島に関する自由意見（自由回答）

1) 沼島を観光した感想や印象に残ったこと（問 14）

本調査では、沼島を観光した感想や印象に残ったことについて52件のご意見が寄せられた。内容は下記の通りである。

なお、複数の項目についてご意見いただいた回答はそれぞれの項目に振り分けている。

➤ 自然・景色について（16 件）

- ・ 上立神岩の美しい景観は印象的でした。
- ・ のどか。自然がいっぱい気持ち良い。
- ・ 太平洋を望む景色は美しかったです。
- ・ 沼島一周できる観光船の便がもっとあればいいと思います。とても景色がきれいで、心に残りました。

➤ 歴史・神話について（13 件）

- ・ 思いがけず色んな歴史が残っている事に感動。非常にいい勉強になりました。
- ・ 中川先生の沼島の歴史、遺跡、曼荼羅等の説明を、次回もお聞きしたく思います。
- ・ 古い生まれの島であることを学べたこと。

➤ ガイド等について（10 件）

- ・ ボランティアガイドの方の親切な説明に心がほかほかとあたたかくなりました。
- ・ 神宮寺住職の話がためになった。
- ・ ガイドさんの説明がわかりやすい。

➤ 土産物が少ない（8 件）

- ・ 沼島汽船の近くに沼島でとれた魚介類の販売所があればいいかなと思いました。
- ・ ちょっとしたおみやげを気軽に買える場所がない。鮮魚などをもっと気軽に買い、送ったりして喜んでもらいたい。

➤ 食事について（6 件）

- ・ 新鮮な魚が美味しくて、とても満足致しました。
- ・ ゆっくり魚の味を楽しめるお食事処があることが大変重要だと思います。

➤ 場所がわかりにくい（4 件）

- ・ 観光するものにとって、ゴミが多かったり、道がわかりにくかったり等、歩き回るのに魅力がない。
- ・ よしじんの場所がわかりにくい。加えて入りづらい。

➤ 人とのふれあい（3 件）

- ・ 沼島の人なんか素朴で、けがれなく、とても人たちもやわらかです。

➤ その他（17件）

- ・ ガイドさんがいるという情報をもっと宣伝してほしい。
- ・ 港周辺の除草ができていなくて残念です。島の玄関なので、客を迎えるおもてなしとして、いつも美しくしてほしいと思います。
- ・ いい観光スポットがあるので、もっと環境整備をして、次も来たいと思うようにすればいいと思う。
- ・ トイレもきれいに掃除されていて、観光しやすいです。海水浴場から船着き場まで歩くと結構あるので、レンタサイクル等の設置もどうでしょうか。

・

2) 沼島航路のサービスや航路への要望（問 15）

本調査では、沼島航路のサービスや航路への要望について16件のご意見が寄せられた。内容は下記の通りである。

なお、複数の項目についてご意見いただいた回答はそれぞれの項目に振り分けている。

➤ 運航ダイヤについて（4件）

- ・ 1時間に1本程度（またはそれ以上）の船便があれば、ありがたい。
- ・ 最終便をもう1時間くらい遅くしてほしい。

➤ 船員の対応について（3件）

- ・ 船員さんが無口で、真面目そうですが、もう少し客に声がけしたらどうでしょう。おはようございます、お気をつけてなど。

➤ 満足している（3件）

- ・ 昔に比べると、とても便利になりました。

➤ その他（9件）

- ・ 今回は久しぶりに訪れましたが、以前来た時に比べて、新しい船の乗り心地が良く、とても気持ち良く嬉しく思いました。私などは乗り物に弱いので、そのことがネックになり、行動に起こすことが難しかったのですが、今回来島して、これならば、また来たいと思いました。
- ・ 船内や座席の清掃はきちんとして、気持ちよく乗れるようにお願いします。
- ・ らんらんバスを洲本まで運行し、洲本便を無くしてはどうか。

4. 島民アンケート調査票

○ご回答は質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものを選んで番号に○印をつけてください。「その他」を選んだ方は、() の中に内容をご記入ください。

○以下では、沼島～土生港を結ぶ航路を「灘線」、沼島～洲本港を結ぶ航路を「洲本線」と呼んでいます。

A. あなたご自身のことについて

問1：あなた（回答者ご本人）のことについてお聞きします。

※調査結果を統計的に分析するためにお聞きするもので、個人が特定されることはありません

あなたの性別 (1つに○)	1 男性	2 女性		
あなたの年齢 (1つに○)	1 10～19歳 5 50～59歳	2 20～29歳 6 60～69歳	3 30～39歳 7 70歳以上	4 40～49歳
あなたの職業 (1つに○)	1 漁業 4 小売業 7 専業主婦	2 飲食・宿泊業 5 公務員・団体職員 8 その他 ()	3 卸売業 6 学生	
通勤・通学地 (1つに○)	1 島内 4 淡路市 7 兵庫県を除く関西 9 徳島県を除く四国	2 南あわじ市 5 神戸市	3 洲本市 6 その他兵庫県 8 徳島県 10 その他 ()	

B. 航路の利用状況について

問2：それぞれの航路について、どの程度利用されていますか。番号をご記入ください。

灘線(下から1つ選んで 番号を記入→)	洲本線(下から1つ選んで 番号を記入→)
1 週に4日以上	5 月に1日程度
2 週に2～3日	6 半年に1日程度
3 週に1日程度	7 1年に1日程度
4 2週間に1日程度	8 利用していない →問7へ

問3：主にどの曜日に航路を利用されていますか。番号をご記入ください。

灘線(下から1つ選んで 番号を記入→)	洲本線(下から1つ選んで 番号を記入→)
1 平日(月～金)のみ	3 平日・休日両方
2 休日(土日)のみ	

問4：主にどのような目的で航路を利用されていますか。それぞれ番号をご記入ください。

瀬線(下から1つ選んで 番号を記入→)	洲本線(下から1つ選んで 番号を記入→)
1 買物	5 親族等への訪問
2 通院	6 観光・レジャー
3 通勤	7 その他 ()
4 通学	

問5：主に利用される乗船券は何ですか。それぞれ番号をご記入ください。

瀬線(下から1つ選んで 番号を記入→)	洲本線(下から1つ選んで 番号を記入→)
1 片道切符	3 回数券
2 往復切符	4 定期券

問6：土生港、洲本港から目的地まで、どのような交通手段を利用されますか。

それぞれ番号をご記入ください。

瀬線(下から1つ選んで 番号を記入→)	洲本線(下から1つ選んで 番号を記入→)
1 路線バス	6 自動二輪
2 コミュニティバス	7 自転車
3 マイカー	8 徒歩
4 タクシー	9 その他 ()
5 送迎車	

C. 航路運航における改善点について

問7：航路の運航について改善してもらいたい点についてお聞きます。航路別に、
あてはまるものを1位から3位まで選び、それぞれ番号をご記入ください。

1 運航本数が少ない →問8へ
2 始発便が遅い
3 最終便が早い
4 運賃が高い
5 乗り心地をもっとよくしてほしい
6 待合室等の設備をもっとよくしてほしい
7 船内設備・サービス・船員の対応をもっとよくしてほしい
8 乗船券販売窓口での対応をもっとよくしてほしい
9 遅延や欠航が多い
10 土生・洲本ターミナルからの他の交通機関との乗り継ぎが悪い
11 乗り継ぎをする交通機関の運賃が高い
12 その他(具体的に:)

灘線(3位まで選んで 番号を記入→)	1位		2位		3位	
洲本線(3位まで選んで 番号を記入→)	1位		2位		3位	

問8：【問7で「1 運航本数が少ない」を選ばれた方におたずねします。】
便を増やしてほしい時間帯をご記入ください。

灘線	時頃	洲本線	時頃
----	----	-----	----

D. 今後の航路の確保・維持について

問9：問7であげた取組みを実施することになった場合、内容によっては運航費用が増加する取組みがあります。その場合、航路を利用する方にご負担をいただく必要が出てくる可能性があります。

航路の確保・維持のため、料金の値上げやサービスの低下を受け入れられますか。各項目について、1～5のうち、それぞれあてはまる番号に1つ○を付けて下さい。ただし、少なくとも1つの項目については、1または2に○を付けて下さい。

ご負担いただく内容	負担を受け入れられるか				
	受け入れられる	どちらかという 受け入れられる	どちらでもない	どちらかという 受け入れられない	受け入れられない
(解答例)右の1～5の番号に1つ○	1	②	3	4	5
航路利用者全員を対象とした 運賃の値上げ	1	2	3	4	5
島民以外を対象とした運賃の値上げ	1	2	3	4	5
手荷物運賃の値上げ	1	2	3	4	5
灘線の減便	1	2	3	4	5
洲本線の減便	1	2	3	4	5
洲本線の廃止	1	2	3	4	5
「しまかぜ」に替わる小型船の導入 (灘線の閑散時間帯、洲本線全て)	1	2	3	4	5
燃費運航(※)の実施	1	2	3	4	5

(※) 燃費運航：燃料の消費が少なくなる代わりに運航時間が長くなる運航方法

E. 航路の確保・維持や地域の活性化のために必要とされる取組について

問10：近年、島の人口が減少し、少子高齢化が進んでいます。航路の確保・維持や地域の活性化を図るうえで、どのような取組が必要であるとお考えですか。ご意見等がございましたら、ご自由に記入ください。

ご協力大変ありがとうございました。

お答えいただいた調査票は、11月18日（月）までに
〇〇様にお渡しください。

5. 観光客アンケート調査票

○ご回答は質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものを選んで番号に○印をつけてください。「その他」を選んだ方は、()の中に内容をご記入ください。

○以下では、沼島～土生港を結ぶ航路を「灘線」、沼島～洲本港を結ぶ航路を「洲本線」と呼んでいます。

A. あなたご自身のことについて

問1：あなた（回答者ご本人）のことについてお聞きします。

※調査結果を統計的に分析するためにお聞きするもので、個人が特定されることはありません

あなたの性別(1つに○)	1 男性	2 女性		
あなたの年齢(1つに○)	1 10～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	
あなたの職業(1つに○)	1 自営業	2 会社員		
	3 公務員・団体職員	4 パート・アルバイト		
	5 専業主婦	6 学生		
	7 その他 ()			
あなたの住まい(1つに○)	1 南あわじ市	2 洲本市	3 淡路市	
	4 神戸市	5 その他兵庫県	6 兵庫県を除く関西	
	7 徳島県	8 徳島県を除く四国		
	9 その他 ()			

B. 沼島を訪れたきっかけと航路の利用状況について

問2：どなたと一緒に来られましたか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 1人で | 3 家族旅行 |
| 2 友人等のグループ旅行 | 4 社内旅行・ツアー等団体旅行 |

問3：沼島に関する観光情報をどのように入手されましたか。(あてはまるものに全て○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 旅行雑誌やガイドブックを見て | 5 沼島の観光案内サイトを見て |
| 2 テレビ・ラジオを視聴して | 6 パンフレットを見て |
| 3 旅行代理店を通じて | 7 その他 () |
| 4 以前沼島を訪れた知人に聞いて | |

問4：どの航路を利用して沼島にられましたか。(1つに○)

1 灘線

2 洲本線

問5：沼島を訪れた回数は何回目ですか。(1つに○)

1 今回が初めて

4 4回

2 2回

5 5回以上

3 3回

問6：沼島での滞在期間はどれくらいですか。(1つに○)

1 日帰り

2 宿泊

問7：土生港・洲本港までどの交通手段を使って来られましたか。(あてはまるものに全て○)

1 マイカー

4 路線バス

2 レンタカー

5 タクシー

3 コミュニティバス

6 その他 ()

問8：沼島に来られた主な目的は何ですか。(あてはまるものに2つまで○)

1 地元の美味しい料理を食べるため

4 ツアーに組み込まれていたため

2 自然景観の鑑賞がしたかった

5 その他 ()

3 釣りがしたくて

C. 沼島の印象ともう一度訪れたいか

問9：沼島を訪れた印象はいかがですか。(1つに○)

1 非常に良い

4 あまり良くない

2 良い

5 良くない

3 普通

問10：もう一度沼島を訪れたいと思いますか。(1つに○)

また、そのように思われた理由についてお答えください。

1 とてもそう思う

4 あまりそう思わない

2 そう思う

5 そう思わない

3 どちらでもない

(理由)

D. 改善してもらいたい点について

問11：島内観光をするにあたって、改善してもらいたい点は何ですか。

1～3位まで選んで、それぞれ番号をご記入ください。

1位	2位	3位
1 土生港・洲本港までの交通手段が少ない 2 島内にレンタサイクルやコミュニティバスを用意してほしい 3 島内の交通の便が悪い 4 地図・施設案内が少ない 5 娯楽施設が少ない 6 交通費・宿泊費などの料金が安い 7 宿泊施設が少ない 8 支払いの際にクレジットカードが使える店が少ない 9 宿泊施設内の設備をもっとよくしてほしい 10 土産物が少ない 11 その他（ ）		

問12：航路の運航に対して改善してもらいたい点は何ですか。

1～3位まで選んで、それぞれ番号をご記入ください

1位	2位	3位
1 運航本数が少ない →問13へ 2 最終便が早い 3 運賃が高い 4 乗り心地をもっとよくしてほしい 5 待合室等の設備をもっとよくしてほしい 6 船内設備・サービス・船員の対応をもっとよくしてほしい 7 乗船券販売窓口での対応をもっとよくしてほしい 8 遅延や欠航の発生が多い 9 土生港・洲本港からの他の交通機関との乗り継ぎが悪い 10 その他（ ）		

問13：【問12で「1 運航本数が少ない」を選ばれた方におたずねします。】

便を増やしてほしい時間帯をご記入ください。

灘線	時頃	洲本線	時頃

E. 沼島に関する自由意見

問14：沼島を観光した感想や印象に残ったことがあれば、ご自由にお書きください。

問15：沼島航路のサービスや航路への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力大変ありがとうございました。

お答えいただいた調査票は〇〇様まで直接お渡してください。

6. 沼島航路確保維持改善協議会

地域公共交通確保維持改善事業補助金要綱の規定に基づき、沼島航路について、地域の特性・実情に最適な航路の提供やバリアフリー化など移動にあたっての様々な障害の解消等に係る方策等を協議し、「生活交通ネットワーク計画（離島航路確保維持計画）」の策定等を行う。

沼島航路確保維持改善協議会委員名簿

【委員】

平成26年3月現在

No.	団 体 名	部 署 名	役職名	氏 名
1	神戸運輸監理部	海事振興部旅客課	課 長	松浦 茂樹
2	兵庫県	企画県民部地域振興課	課 長	安部 斉
3	兵庫県	淡路県民局総務企画室	室 長	藤長 義馬
4	兵庫県	洲本農林水産振興事務所	所 長	藤澤 崇夫
5	兵庫県	洲本土木事務所	所 長	大瓦 巖
6	南あわじ市	市長公室	室 長	土井本 環
7	南あわじ市	産業振興部水産振興課	課 長	榎本 輝夫
8	洲本市	企画情報部	部 長	上崎 勝規
9	沼島総合開発会	—	会 長	磯崎 剛
10	沼島地区自治会	—	会 長	島津 弘
11	沼島商工会	—	会 長	橋本 栄二
12	沼島汽船(株)	—	代表取締役	古谷 嶽

